

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

平 成 30 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成30年4月 ～ 平成31年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|------------|---|--|
| 山形敏明 | (学術論文) 1. 「福島県における雪害対策に関する基礎的研究－近年の人身雪害の状況について－ | 共著 | 2018年9月 | 雪氷研究大会（2018・札幌）、講演要旨集 p33. | 福島県内の人身雪害状況を近年16年間について、福島県警の資料を基に整理分析した。 |
| 安田純子 | (学術論文) 1. 「大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月 | 『日本キャリア教育学会第40回研究大会研究発表論文集』202～203頁 日本キャリア教育学会 | 大学におけるキャリア教育について、郡山女子大学を例として、理念と全体像、キャリアデザインⅠの内容を踏まえ、現在の課題と今後の方向性を考えた。 |
| | (その他) 1. 教材『キャリアデザイン』 | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会 | 共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。 |
| | 2. 発表「大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月9日 | 日本キャリア教育学会第40回研究大会 | 郡山女子大学のキャリア教育の特徴と課題をポスター・セッション形式で発表した。 |
| | 3. 発表「女性の労働と家庭生活に関する一考察」 | 単 | 2018年8月27日 | 第72回東北経済学会 | 労働事情、特に働く女性の現状を鑑み、仕事と生活の調和の実現の課題と少子化の一因となる労働の問題を考察発表した。 |
| | 4. 報告概要「女性の労働と家庭生活に関する一考察」 | 単 | 2018年8月 | 『第72回東北経済学会報告概要』4頁 東北経済学会 | 発表（報告）の内容を概要としてまとめた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|--|---------|---------------|---|---|
| | 5. キャリア・カウンセラー所定研修修了 | 単 | 2018年11月24日 | 関東地区部会研修会「キャリア・カウンセラー研修講座」認定講座 日本キャリア教育学会 | b分野「カウンセリングスキルに関する理論と実践」c分野「学校教育・キャリア教育の理解」を受講し修了した。 |
| | 6. キャリア・カウンセラー資格更新審査合格 | 単 | 2018年6月19日 | 日本キャリア教育学会資格認定委員会 | 日本キャリア教育学会のキャリア・カウンセラー資格更新審査に合格し、名簿登録された。 |
| 難波めぐみ | (口頭発表) 1. 関東地域の学生の寝衣に関する実態調査：性差の検討 | 共同 | 2018年6月16、17日 | 日本生理人類学会第77回大会 | 寝衣が睡眠の質を左右する重要な要因であるが、寝衣以外の衣服を用いていることが睡眠感を低くする一因の可能性を報告した。 前田亜紀子、須田理恵、西山加奈、水野一枝、水野康、久慈るみ子、井上美紀、難波めぐみ |
| | 2. Association between nightwear and subjective sleep quality during among students in Northeast Japan | 共同 | 2018年7月11～13日 | 合同：日本睡眠学会第43回定期学術集会、第9回アジア睡眠学会（於：札幌コンベンションセンター） | These results revealed that the type of nightwear, in particular the upper part of the body, and the use of bedroom heating suggested the possibility of being associated with the subjective sleep quality of students in winter. 水野一枝、西山加奈、水野康、久慈るみ子、井上美紀、難波めぐみ、須田理恵、前田亜紀子 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|-----|--|-------------|-------------------|--|---|
| | 3. 冬期の学生の寝衣に関する実態調査－東北地域と関東地域の検討－ | 共同 | 2018年9月8日 | (一社)日本家政学会 東北・北海道支部 第62回 研究発表会 (於: 東北生活文化大学) | 東北では寝衣としてトレーナー、ジャージ等を選び、寝具の枚数を増やして低温環境に対処している可能性を報告した。 西山加奈、水野一枝、水野康、久慈るみ子、井上美紀、難波めぐみ、前田亜紀子、須田理恵、松岡有樹 |
| | (示説発表) 1. 東北地域における冬期の学生の寝衣に関する実態調査－性差の検討－ | 共同 | 2018年5月26、 27日 | (一社)日本家政学会 第70回大会 (於: 日本女子大学) | 寝衣の種類や枚数、行動に性差が見られ、女子は加湿器具を使用し、寝具や着衣枚数を増加して低温環境に対処していることを報告した。 西山加奈、水野一枝、水野康、久慈るみ子、井上美紀、難波めぐみ、須田理恵、前田亜紀子 |
| | 2. 関東地域における冬期の学生の寝衣に関する実態調査 | 共同 | 2018年5月26、 27日 | (一社)日本家政学会 第70回大会 (於: 日本女子大学) | 関東地域の学生の多くは、就寝中は暖房や加湿器具を使用せず、寝衣に暖かさの機能性を重視していることを明らかとした。 須田理恵、西山加奈、水野一枝、水野康、久慈るみ子、井上美紀、難波めぐみ、前田亜紀子 |
| | (その他) 1. 日本の色彩～色のルーツをたどる～ | 単 | 2018年6月27日 | 一般財団法人 とうほう地域総合研究所 『福島の進路』2018.7 No.431 | 「私の研究」として、現在取り組んでいる研究について報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|------------|---------------------|---|
| 熊田伸子 | (学術論文) 1. 地域の福祉的課題解決に向けての取り組み - 郡山市の地域包括支援センターの取り組みより - | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学研究紀要第55集 | 地域包括支援センターおよび社会福祉協議会の協力を得て、地域の特徴や課題、福祉活動の内容を明らかにした。その結果を受けて、大学が地域と協働し、課題解決に取り組むための方策を論じた。 |
| | 2. 独居を妨げない・断ち切らない - 限られた社会資源を補う日頃のつながり - | 単著 | 2019年3月 | 医療と介護Next 2019 | 地域包括ケアの在り方は、地域や自治体の考え方によりさまざまな形がある。福島県の中山間地域における高齢者の生活課題とそれをカバーする地域の関係性について論じた。 |
| | 3. 住み慣れた地域での生活の継続を目指して | 単著 | 2018年7月 | 一般財団法人とうほう地域総合研究所 | 『福島の進路』私の研究において、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続していくためにどのような工夫が必要かを論じた。 |
| 関川悦雄 | (著書) 1. 特別活動・総合的学習の理論と指導法 | 共著 | 平成31年2月15日 | 弘文堂 | 教職課程の再課程に合わせ、かつ新学習指導要領に即しつつ特別活動の理論と指導法を解明した。同時に、総合的学習の理論と指導法も探究した。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------|--|--------------|---|---|--|
| | (その他) 1. 初任研教員をめぐる職場の状況 | 共同研究 | 平成30年9月3日 でラウンドテーブルで発表予定であったが、当日台風の影響により中止となった。ただし、その発表のために日常的に共同研究を進めていた。 | 日本教師教育学会での特別研究部会 | 初任者教員が最近とみに1年目で退職する事態が生まれている。いわゆるブラック・スクール化に至る状況で、退職する初任者が置かれている具体的な問題を解明しようとしている。 |
| 山 本 裕 詞 | (学術論文) 1. 「生徒指導・教育相談」に関する「行政指導」の変化とその教育思想的特徴 | 単著 | 2019年3月 | 桐生大学・桐生大学短期大学部教職課程委員会『桐生大学教職課程年報 第二号』 | 文部省最初の生徒指導の手引書が公開された1965年～70年代にかけての生徒指導・教育相談指導観から、近年のその方向性の変化について、その教育思想的特徴を明らかにした。 |
| 石 原 正 道 | (学術論文) 1. Phase transition for the system of finite volume in the ϕ^4 theory in the Tsallis nonextensive statistics 2. Momentum distribution and correlation for a free scalar field in the Tsallis nonextensive statistics based on density operator | 単著 単著 | 2018年4月 2018年10月 | International Journal of Modern Physics A, Vol. 33, 1850067 (16 pages) European Physical Journal A 54: 164 (6 pages) | ϕ^4 理論において、ツァリス統計力学で記述される有限系における相転移を(1-q)展開を用いて調べた。 ツァリスの統計力学において、密度行列を用いて、自由粒子の運動量分布および粒子相関を計算した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---------|--|---------|-----------|---|--|
| | 3. 伸び率を用いた成績評価指標の改善 | 共著 | 採録 | 大学入試研究ジャーナル | 正答率の伸び率を用いた指標を導入し、導入した指標が適切な成績評価の指標となっていることを示した。 |
| | 4. 普及状況からみた原理の理解を必要とする電気製品 | 共著 | 採録 | 郡山女子大学紀要第55集 | 普及状況を把握し、小学校・中学校・高等学校の教員が原理を理解しておくべき電気製品を明らかにした。 |
| 堀 琴 美 | (学術論文) 1. 「大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月 | 『日本キャリア教育学会第40回研究大会研究発表論文集』202～203頁 日本キャリア教育学会 | 大学におけるキャリア教育について、郡山女子大学を例として、理念と全体像、キャリアデザインⅠの内容を踏まえ、現在の課題と今後の方向性を考えた。 |
| | (その他) 1. 教材『キャリアデザイン』 | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会 | 共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。 |
| 阿 部 恵利子 | (その他) 1. 福島県における木材利用の意義～木材利用の現状と木育の実践～ | 単著 | 2018年9月 | 一般財団法人 とうほう地域総合研究所「福島への進路」 | 木育の実践や公共建築物の木材利用状況をとおして、福島県における木材利用の意義について考察した。 |
| 長 田 城 治 | (口頭発表) 1. 占領下日本におけるホテルの接収形態とその動向－占領下日本の都市・住宅に関する研究 その15 | 単著 | 平成30年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠) | 占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、接収されたホテルに注目し、接収形態の特徴と接収後の動向を報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|---|---------|-----------|--------------------------|--|
| | 2. 茨城県新興農場における移住家屋の設計・建設経緯－大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その6 | 共著 | 平成30年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠） | 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、茨城県新興農場における移住家屋の建設経緯を当時の資料より分析した。 |
| | 3. 茨城県新興農場の今和次郎設計「従業員住宅」の平面とその特徴－大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その7 | 共著 | 平成30年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠） | 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、茨城県新興農場における今和次郎設計作品に注目し、従業員住宅の特徴を考察した。 |
| | 4. 開墾地移住奨励制度における共同建造物の実態と地域性－大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その8 | 共著 | 平成30年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠） | 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、開墾地移住奨励制度の共同建造物建設奨励に注目し、制度概要と建築的な特徴を報告した。 |
| | 5. 教会堂建築における畳敷の採用とその背景－近代教会堂建築における和風意匠の特徴とその背景に関する研究 その1 (報告書) | 共著 | 平成30年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠） | 近代の教会堂建築で散見される畳敷き教会堂の全国的な傾向と採用要因を考察した。 |
| | 1. 旧採進堂酒店に関する調査報告書 | 単著 | 平成30年9月 | 福島県 | 旧採進堂酒店（福島市）の主屋および土蔵を国登録有形文化財へ申請するための所見を制作し、地域的・文化的価値が高いことを報告した。 |
| | 2. 国登録有形文化財（建造物）旧高畠鉄道高畠駅本屋及びプラットフォームほか3棟保存活用計画 | 共著 | 平成31年3月 | 高畠町教育委員会 | 国登録有形文化財（建造物）旧高畠鉄道高畠駅本屋及びプラットフォームほか3棟の保存活用計画の策定に携わり、報告書の監修を行った。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|---------------------|--|
| | 3. 平成30年度ヘリテージマネージャー育成講習会報告書 | 共著 | 平成31年3月 | 福島県歴史的建造物保全活用促進協議会 | 「国見町の石造建築物調査報告書について」と題した授業の内容を収録し、国見町の事例を紹介して地域に眠る文化財の調査方法やその意義について講演した。 |
| | デザイン制作 1. 石工フェスin石蔵2018に関する広報用フライヤー制作 | 単著 | 平成30年8月 | 国見町企画情報課歴史まちづくり推進室 | 国見町と郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースが共催したイベントにおいて利用した広報用のフライヤー(5,500部)およびポスターのデザイン制作を行った。 |
| | 2. 国見町観光パンフレット「国見石蔵巡り」 | 単著 | 平成30年10月 | 国見町企画情報課歴史まちづくり推進室 | 国見町の石蔵や国見石の魅力をまとめた観光パンフレットを制作した(4,000部)。 |
| 近内直美 | (学術論文) 1. 地域の福祉的課題解決に向けての取り組み－郡山市の地域包括支援センターの取り組みより－ | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学研究紀要第55集 | 脆弱化した地域力の向上を図り生活課題の解決に向け、地域包括ケアシステムの構築が推進されている。調査結果を基に、地域福祉の現状と課題を把握し、大学と地域との協働について考察した。 |
| 藤田京子 | ポスター発表 1. 「認知症の早期受診に繋ぐための要因について」 | 共著 | 平成30年6月 | 日本老年社会学会第60回大会抄録号 | 認知症患者の家族介護者に対して行ったアンケートの自由記載から受診に関する内容を抽出し、カテゴリー化することにより早期受診に繋ぐ要因について考察した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|--|--|
| 紺野信弘 | (学術論文) 1. Depressive Symptoms and Associated Factors in Female Students in Fukushima Four Years after the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster | 共著 | 2018 10 | International Journal of Environmental Research and Public Health 2018,15,2411;doi:10.3390/ijerph15112411 | 19歳後半から20代前半の若い女性はうつ病発症の最も高いリスク集団である。調査した222名の女子大生は東日本大震災の時に福島に住んでいた。対象学生の46.5%にうつの症状が報告された。 |
| | 2. 女子大学生における体型の経年変化－2008年から2017年の10年間の推移－ (査読付) | 共著 | 2019 3 | 郡山女子大学紀要55 2019 大食 紺野 121－132 | 体型の基礎指標と肥満の指標等について郡山女子大学生を対象に10年間の経年変化を分析したが、この10年間で体型の著明な変化は見られなかった。 |
| 鉾野信子 | (その他) 1. お酒の楽しみ方 甘酒編 その① 生活における甘酒の役割 その1 | 単著 | 2018年4月 | 酒販の友 No691 p.12-13 | 甘酒の起源と福島県における生活習慣の中の甘酒についての聞き取り調査法について解説した。 |
| | 2. お酒の楽しみ方 甘酒編 その② 生活における甘酒の役割 その2 | 単著 | 2018年5月 | 酒販の友 No692 p.10-11 | 甘酒が人々の生活に果たしてきた役割のうち、神仏に対する祈願や感謝を主目的とした行事の供物(神饌)としての役割について解説した。 |
| | 3. お酒の楽しみ方 甘酒編 その③ 生活における甘酒の役割 その3 | 単著 | 2018年6月 | 酒販の友 No693 p.10-11 | 甘酒が人々の生活に果たしてきた役割のうち、母乳代替栄養食品としての役割、持て成しの飲み物としての役割について解説した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|-------------------------------------|---------|-----------|---------------------|--|
| | 4. お酒の楽しみ方 甘酒編 その④ 生活における甘酒の役割 その4 | 単著 | 2018年7月 | 酒販の友 No694 p.8-9 | 甘酒が人々の生活に果たしてきた役割のうち、嗜好食品及び間食としての役割、保存食としての役割、麴の糖化効力検定の役割について解説した。 |
| | 5. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑤ 甘酒の製法における相違点 その1 | 単著 | 2018年8月 | 酒販の友 No695 p.6-7 | 家や地域によってさまざまな甘酒の伝統的な製法の中で、材料及び分量の違いについて解説した。 |
| | 6. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑥ 甘酒の製法における相違点 その2 | 単著 | 2018年9月 | 酒販の友 No696 p.8-9 | 家や地域によってさまざまな甘酒の伝統的な製法の中で、米の調理形態、麴を加える際の温度の確認、保温の方法等について解説した。 |
| | 7. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑦ 餅甘酒 その1 | 単著 | 2018年10月 | 酒販の友 No697 p.10-11 | 餅に麴を加えて作る甘酒について、聞き取り調査の概要を解説した。 |
| | 8. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑧ 餅甘酒 その2 | 単著 | 2018年11月 | 酒販の友 No698 p.8-9 | 餅甘酒の呼称、各家の具体的な餅甘酒の伝統的な製法について解説した。 |
| | 9. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑨ 麴の入手法 | 単著 | 2018年12月 | 酒販の友 No699 p.10-11 | 甘酒を作る際の、伝統的な麴の入手法および伝統的な麴の作り方について解説した。 |
| | 10. お酒の楽しみ方 甘酒編 その⑩ 甘酒の利用法と甘酒文化 | 単著 | 2019年1月 | 酒販の友 No700 p.18-19 | “飲む”以外の甘酒の利用方法、甘酒の嗜好性と今後の展望について解説した。 |
| | 11. 食品表示編 その① 食品表示法の成立と基本事項 | 単著 | 2019年2月 | 酒販の友 No701 p.12-13 | 食品の履歴書・保証書である食品表示について、食品表示法成立までの経緯と食品表示の基本事項について解説した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|-----------------------|---|--|
| 関口 晋 | (学術論文) 1. 嗜好飲料(コーヒー・紅茶)が暗算作業における生理・気分状態に及ぼす影響 | 共著 | 平成30年(平成30年11月21日付受理) | 郡山女子大学紀要第55集 | 嗜好飲料が暗算作業を行った際の作業効率や生理・気分状態に与える作用について、異なる嗜好飲料やカフェイン等錠剤の摂取を比較することで、嗜好飲料に含まれるカフェインや嗜好飲料の風味が与える影響を検討した。 本人担当部分： 研究計画、結果まとめ 共著者： 関口 晋、江田智子 |
| | (その他) 「学会発表」 1. 先入観が嗅覚と味覚の相互作用に及ぼす影響の予備的検討 | 共著 | 平成30年6月 | 第4回日本栄養改善学会東北支部学術総会 (於：福島県福島市) (P-47) | 特定の匂い条件下での味覚について、その匂いや味に関する先入観がどのような影響を与えるかに関する知見を得ることを目的とし、匂いと味の組み合わせの検討を行った。 本人担当部分： 研究計画、結果まとめ 共著者： 関口 晋、大友沙百合、小針葵 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|-----------|-----------------------------------|---|
| | 2. アロマが食事における生理・気分状態に及ぼす影響 | 共著 | 平成30年10月 | 日本味と匂学会第52回大会（於：埼玉県さいたま市）(P-101) | アロマが食事における生理・気分状態や味覚に及ぼす作用について、オルトネーザル匂い知覚の経路によるアロマの嗅覚刺激が食事由来のレトロネーザル匂い知覚への嗅覚刺激にどのような影響を受けるかの検討を行った。 本人担当部分： 研究計画、結果まとめ 共著者： 関口 晋、根本夏美、矢吹知美 |
| | 3. 嗅覚と味覚の関連性に影響する視覚的環境要因について | 共著 | 平成30年12月 | 平成30年室内環境学会学術大会（於：東京都目黒区）(P-16) | 嗅覚と味覚の関連性に視覚がどのような影響を及ぼすかを検討するため、明条件と暗条件それぞれにおける特定の匂いと味の組み合わせによって得られる感覚を比較した。 本人担当部分： 研究計画、結果まとめ 共著者： 関口 晋、中村佳寿美、佐藤望、渡邊千華子 |
| 菊池節子 | （その他） 「学会発表」 1. 減塩醤油の味慣れに関する研究 （口頭発表） | 共同研究 | 2018年6月 | 第86回醤油研究発表会（東京大会） （東京農業大学 東京都） | 嗜好には慣れの現象があることを利用し減塩醤油を用いた慣れの試験を行った結果、最低2週間の減塩醤油の継続使用により低塩に対する慣れが起こることを報告した。 菊池節子、小幡明雄、善方美千子、藤本健四郎 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|--|---------|-----------|---|--|
| | 2. 福島県中通り北部の江戸期婚礼献立の特徴 (口頭発表) | 共同研究 | 2018年8月 | 日本調理科学会 平成30年度大会 (武庫川女子大学 西宮市) | 福島市飯坂町の旧家堀切家の江戸期婚礼献立の構成とそれに供されている料理や食材の特徴について報告した。 津田和加子、菊池節子 |
| | 3. 伝統的な和食におけるNa/K比から評価した減塩の試み (口頭発表) | 共同研究 | 2018年10月 | 日本食生活学会 第57回大会 (中村学園大学 福岡市) | 食事のNa/K比が高い人は循環器疾患による死亡リスクが増加することから、食塩量が多い汁物と漬物についてNa/K比を分析し、食塩摂取に関して量のみではなく質的側面からの検討を加えた。 菊池節子、郡司尚子、味戸美樹、金田翔子、高橋佳那、畑山鮎子、和田篤寿香、小幡明雄、藤本健四郎 |
| | 4. Na/K比からみた和食の食塩含量に関する一考察 (口頭発表) | 共同研究 | 2018年12月 | 第30回福島県栄養改善学会 (郡山市労働福祉会館 郡山市) | みそ汁は具材の工夫によりNa/K比を適正にできる事と会津地方の郷土料理の「こづゆ」は理想的なNa/K比である事を報告した。 菊池節子、郡司尚子、森谷雅子、高橋佳那、味戸美樹、金田翔子、畑山鮎子、和田篤寿香、藤本健四郎 |
| | 「報告書」 1. 郡山市震災後子どもへのケアプロジェクト 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業 運動や食事についてのアンケート調査報告書 (2017年) | 共著 | 2018年3月 | 認定NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク | 本報告書は平成29年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。 本人担当部分：食習慣、食事の様子 pp.5、8-9、34-58 菊池信太郎、中村和彦、菊池節子、長野康平、高橋千春 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|---|---------|------------|--|---|
| | 2. 郡山市震災後子どものケアプロジェクト 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業 運動や食事についてのアンケート調査報告書 (2018年) | 共著 | 2019年2月 | 認定NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク | 本報告書は平成30年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。本人担当部分：食習慣、食事の様子pp.5、8-9、34-58 菊池信太郎、中村和彦、菊池節子、長野康平、高橋千春、村山枝里 |
| 大西 弘太郎 | (その他) 1. 在宅医療は地域に貢献できるか？ | 単著 | 2018年12月1日 | 第33回日本国際保健医療学会学術大会 (東京) | 入院設備を有する医療機関における在宅医療の機能、位置付けなどについての考察と今後の展望。 |
| 岡部 聡子 | (学術論文) 1. 栄養教育ツールとしての鉄量把握評価票の検討 | 共著 | 2018年2月 | 保健の科学61 (2), 129-134 | 鉄の摂取量を可視化するツールを作成し、妥当性の検定をした後、行動変容技法を取り入れた栄養指導の成果について報告した。 |
| | 2. Depressive Symptoms and Associated Factors in Female Students in Fukushima Four Years after the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster | 共著 | 2018年10月 | International Journal of Environmental Research and Public Health 15 (11) 2411 | 福島原発事故後の県内の女子大生を対象に調査をして、46.5%の学生が抑うつ傾向を示した。今後、学業や日常ストレスの影響を排除する必要がある。 |
| | 3. 女子高校生における貧血の程度と女子卓球部の栄養教育の実践について | 共著 | 2018年2月 | 郡山女子大学紀要 第55集 | 女子高校生を対象として非観血的ヘモグロビン値の測定を実施し、約18%が貧血群に該当した。その実情を踏まえ、卓球部の栄養教育の実践について報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|--|--|
| | (口頭発表) 4. 貧血予防に向けての栄養指導ツール作成の試み | 共著 | 2018年9月5日 | 栄養学雑誌Vol.76 No.5,209,2018 | 鉄の摂取量を可視化するツールを作成し、その妥当性について報告した。 |
| 亀田明美 | (学術論文) 1. 地方自治体における栄養教諭の人事政策に関する一考察 - 配置率と教員採用選考方法に着目して - | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学研究紀要第55集 | 各都道府県・政令指定都市の栄養教諭の配置率と採用選考を取り上げて、教員採用選考における栄養教諭の採用状況と学校栄養職員の採用状況を確認するプロセスから、全国的な動向を検討した。 佐久間邦友、亀田明美、本山敬祐、田中真秀 |
| | 2. 栄養教諭のキャリアパスに関する一考察 - 福島県内の学校栄養職員から栄養教諭への任用替えに着目して - | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学研究紀要第55集 | 栄養教諭のキャリアパスについて、学校栄養職員から栄養教諭に任用替えしている実態に着目し、今後の栄養教諭に必要な資質・能力を検討した。 亀田明美、柳沼和子、田中真秀 |
| | (口頭発表) 1. 小中学生における給食の食べ残し、給食の楽しさ及び家庭での共食とQOLの関連性 | 共同研究 | 2018年9月 | 日本栄養改善学会第65回学術総会 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター | 小学生版・中学生版QOL尺度を用いて、給食の食べ残し・楽しさ等の状況とQOL総得点の関連性について検討した。 森 有沙、亀田明美 |
| | (示説発表) 1. 管理栄養士養成課程学生の4年進級時における基本コンピテンシー到達度と学習状況との関連 | 共同研究 | 2018年9月 | 日本栄養改善学会第65回学術総会 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター | 学生の基本コンピテンシー到達度と学習状況の関連性を明らかにし、国家試験対策における、今後の課題を検討した。 善方美千子、本間杏菜、亀田明美 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|---------------|---|--|
| | (その他) 1. 学校給食における栄養管理の理論と実践 ～児童生徒一人一人のアセスメントとモニタリング～ | 単著 | 2018年4月 | とうほく地域総合研究所「福島の進路」 P51-54 | 学校給食の栄養管理におけるアセスメントとモニタリングの重要性について、具体的な例を示しながら解説した。 |
| 影山志保 | (学術論文) 1. Distributions and multiple sources of chlorinated polycyclic aromatic hydrocarbons in the air over Japan | 共著 | 2019年2月 | Science of the Total Environment 649 p.364-371 | 塩素化多環芳香族炭化水素（CIPAHs）の日本における空間分布を明らかにし報告した。大気中におけるCIPAHsには特有の発生源と生成経路が存在し、その8割は燃焼系に寄与していることを明らかにした。 |
| | (その他) 口頭発表 1. 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向（2017） | 共同 | 2018年5月25～26日 | 日本菌学会第62回大会講演要旨集（信州大学）p.47 | 福島県内の野生きのこの放射性セシウム濃度について、種類、採取場所、空間放射線率と子実体の放射性セシウム濃度の関係や同一きのこの年次変化、近縁種による違いなどを報告した。 |
| | 2. 郡山産「鯉」の栄養成分 | 共同 | 2018年12月4日 | 第30回福島県栄養改善学会発表要旨集（郡山市労働福祉会館） | 郡山産鯉の一般成分と機能性成分、ゆで調理による部位の成分変化を検討し報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|----------------|---------------------------------|---|
| | ポスター発表 1. 鯉節から単離した麹菌による肉の発酵 | 共同 | 2018年5月25～27日 | 日本家政学会第70回大会研究発表要旨集（日本女子大学）p.57 | 鯉節から単離した麹菌を、生肉や加熱肉に摂取し、電気的条件下で培養した。培養の結果、ジャーキーのような旨味の発酵食品が完成したことを報告した。 |
| | 2. きこの放射性セシウムの実態 | 共同 | 2018年5月25～27日 | 日本家政学会第70回大会研究発表要旨集（日本女子大学）p.98 | 2013年から2018年にかけて測定したきこの放射性セシウム濃度について報告した。 |
| 佐藤浩明 | (その他) 1. (ポスター発表) バレーボールクラブの運営に関する - 考察Movement Volleyball Lyssoisの取り組み着目して | 共同 | 平成31年3月2日 | 日本バレーボール学会 | 本研究はフランス北部にあるMVBLのクラブ運営に着目して、我が国のバレーボールクラブの運営の方策に新たな運営を視座することを目的としている。 |
| | 2. (ポスター発表) バレーボールゲームにおけるトータル・ディフェンスに関する研究 | | 平成31年3月12日～13日 | | 本研究ではディフェンス側のサーブの種類やコースによって、オフェンス側の攻撃が6つのローテーションでどのように変化するかを定量的に分析することにより、サーブ・システムスキルと連携させた効果的なブロック・システムやディグ・システム構築に関する知見を得ることを目的とする。 |
| | 3. 全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高） 福島県代表決定戦（優勝） | | | | 研究のトータル・ディフェンスを駆使し数多くの編集動画作成しチームミーティング等で活用した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|---|---------|----------------|--|---|
| 黒澤 廣子 | (その他) 1. 学会発表 | 共同 | 平成30年 9月5日 | 第65回日本栄養改善学会 | 「貧血予防に向けての栄養指導ツール作成の試み」 |
| | 2. 学会発表 | 共同 | 平成31年 1月13日 | 第22回日本病態栄養学会 | 「血液透析患者の食生活に関する調査と今後の課題」 |
| 高橋 徹 | (著書) 1. The Role of Functional Food Security in Global Health 1st Edition (編集: R.B.Singh, Ronald Watson、高橋 徹) | 共著 | 2018年10月 | Academic Press, Elsevier, | R.B.SinghやRonald Watsonと共に書籍の編集を行った。Chapter 3を筆頭で執筆し、Chapter 5、6、14、17、19、27、39の執筆にも関わった。 |
| | (学術論文) 1. Influences of School Cooking and Catering Systems on Leftover Meals and Eating Behaviors of Children | 共著 | 2018年 | Journal of Food Nutrition and Dietetics. 2018 Feb 5; 2 (1) :14000115 | 給食システムと行動の関係を示した。 |
| | (その他) 学会発表 1. 「Dirtary fibers」(招待講演) | 共著 | 2018年11月21日 | World Congress of Clinical Nutrition, アーメダバード, インド | 食物繊維と疾病の関係について解説した。 |
| | 2. 「Potential causal relationships between pathologic subjective halitosis and psychological characteristics」招待講演 | 共著 | 2018年08月21日 | Psychiatry & Psychology, プラハ, チェコ | 仮性公衆症になる原因を心理面から分析した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-------------|---|--|
| | 3. オリゴ糖添加が唾液中IgA分泌速度に与える影響 | 共著 | 2018年05月12日 | 第72回日本栄養・食糧学会大会、岡山、2018.5.11-13. | 上気道感染に関わる免疫グロブリンがオリゴ糖摂取で増えることを発表した。 |
| | 4. 脂肪添加量の違いとフラクトオリゴ糖添加が唾液中IgA分泌速度と顎下腺チロシンヒドロキシラーゼ濃度に与える影響 | 共著 | 2018年12月08日 | 第24回Hindgut Club JAPAN シンポジウム、東京、2018.12.8. | 脂肪を摂取すると免疫グロブリンがオリゴ糖摂取で増えることを発表した。 |
| | 5. 教員の直接指導が園児の食事中の行動や残菜率に及ぼす影響 | 共著 | 2018年09月04日 | 65回日本栄養改善学会 | 教員が直接指導した場合の園児の行動を解析した。 |
| | 6. 親のやせの認識と心理的要因が子供のやせに及ぼす影響 | 共著 | 2018年11月24日 | 第14回日本給食経営管理学会 | 親のやせが子供に与えり影響を因果関係解析ベイジアンネットワークを用いて解析した。 |
| 郡司尚子 | (示説発表) 1. 伝統的な和食におけるNa/K比から評価した減塩の試み (口頭発表) | 共同 | 2018年10月 | 日本食生活学会 第57回大会 (中村学園大学 福岡市) | 食事のNa/K比が高い人は循環器疾患による死亡リスクが増加することから、食塩量が多い汁物と漬物についてNa/K比を分析し、食塩摂取に関して量のみではなく質的側面からの検討を加えた。(菊池節子、郡司尚子、味戸美樹、金田翔子、高橋佳那、畑山鮎子、和田篤寿香、小幡明雄、藤本健四郎) |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---------|--|---------|-----------|--|---|
| | 2. Na/K比からみた和食の食塩含量に関する一考察 (口頭発表) | 共同 | 2018年12月 | 第30回福島県栄養改善学会 (郡山市労働福祉会館 郡山市) | みそ汁は具材の工夫によりNa/K比を適正にできる事と会津地方の郷土料理の「こづゆ」は理想的なNa/K比である事を報告した。(菊池節子、郡司尚子、森谷雅子、高橋佳那、味戸美樹、金田翔子、畑山鮎子、和田篤寿香、藤本健四郎) |
| | (その他) 1. エゴマを用いた福島の復興～エゴマの特性と新たな商品開発をめざして～ | 単著 | 2018年5月 | 福島の進路 No.429, | 福島県内に配布されている雑誌に、エゴマの機能性やエゴマ油の酸化安定性について、葛尾村でのエゴマ栽培や商品開発などの取り組み内容について投稿し、掲載された。 |
| 長谷川 貴 弘 | (学術論文) 1. 大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として－ | 共著 | 2018年12月 | 日本キャリア教育学会第40回研究大会研究発表論文集pp.202-203、日本キャリア教育学会 | 大学におけるキャリア教育について、郡山女子大学の例として理念と全体像、キャリアデザインⅠの内容を踏まえ、現在の課題と今後の方向性を考えた。 |
| | (その他) 1. 学会発表 「大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として」 | 共同発表 | 2018年12月 | 日本キャリア教育学会第40回研究大会 (於：早稲田大学) | 大学におけるキャリア教育について、郡山女子大学の例として理念と全体像、キャリアデザインⅠの内容についてポスター発表を行った。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|---|---------|----------------|--|---|
| 善方美千子 | (示説発表) 1. 管理栄養士養成課程学生の4年進級時における基本コンピテンシー到達度と学習状況との関連 | 共同研究 | 2018年9月 | 日本栄養改善学会 第65回学術総会 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター | 学生の基本コンピテンシー到達度と学習状況の関連性を明らかにし、国家試験対策における、今後の課題を検討した。 善方美千子、本間杏菜、亀田明美 |
| 柳沼和子 | (著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 秋から冬」 | 共著 | 平成30年 9月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のおかず いわし・さばなど」 | 共著 | 平成30年 12月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 3. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「炊き込みご飯 おにぎり」 | 共著 | 平成31年 2月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | (学術論文) 1. 女子高校生における貧血の程度と女子卓球部の栄養教育の実際について | 共著 | 2019年2月 | 郡山女子大学紀要 第55集 | 女子高校生を対象として非観血的ヘモグロビン値の測定を実施し、約18%が貧血群に該当した。その実情を踏まえ、卓球部の栄養教育の実践について報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|--------------------|---|---|
| | 2. 栄養教諭のキャリアパスに関する一考察 - 福島県内の学校栄養職員から栄養教諭への任用替えに着目して - | | 2019年3月 | 郡山女子大学研究紀要第55集 | 栄養教諭のキャリアパスについて、学校栄養職員から栄養教諭に任用替えしている実態に着目し、今後の栄養教諭に必要な資質・能力を検討した。 |
| | (その他) 1. 福島県の家庭料理 主菜の特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方の主菜 - | 共同 | 平成30年 8月30日～31日 | 一般社団法人日本調理科学会 平成30年度大会(武庫川女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表 | 前年に引き続き、今回は「主菜」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「主菜」の特徴について報告した。 |
| 本間杏菜 | (学術論文) 1. 栄養教育ツールとしての鉄量把握評価票の検討 | 共著 | 2018年2月 | 保健の科学61(2), 129-134 | 鉄の摂取量を可視化するツールを作成し、妥当性の検定をした後、行動変容技法を取り入れた栄養指導の成果について報告した。 |
| | 2. 女子高校生における貧血の程度と女子卓球部の栄養教育の実践について | 共著 | 2018年2月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 女子高校生を対象として非観血的ヘモグロビン値の測定を実施し、約18%が貧血群に該当した。その実情を踏まえ、卓球部の栄養教育の実践について報告した。 |
| | (口頭発表) 1. 貧血予防に向けての栄養指導ツール作成の試み | 共著 | 2018年9月5日 | 栄養学雑誌Vol.76 No.5、209、2018 | 鉄の摂取量を可視化するツールを作成し、その妥当性について報告した。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------|--|-----------------------------------|---------------------------|--|--|
| | 2. 学会発表 (示説発表) 1. 管理栄養士養成課程学生の4 年進級時における基本コンピテン シー到達度と学習状況との関連 | 共同 共同研究 | 2019年1月13日 2018年9月 | 第22回日本病能栄養 学会 日本栄養改善学会 第65回学術総会 朱鷺メッセ新潟コン ベンションセンター | 「血液透析患者の食生活に関する調査 と今後の課題」 学生の基本コンピテンシー到達度と学 習状況の関連性を明らかにし、国家試 験対策における、今後の課題を検討し た。 善方美千子、本間杏菜、亀田明美 |
| 吉 田 朱 里 | (学術論文) 1. 女子高校生における貧血の程 度と女子卓球部の栄養教育の実際 について | 共著 | 2018年2月 | 郡山女子大学紀要 第55集 | 女子高校生を対象として非観血的ヘモ グロビン値の測定を実施し、約18%が 貧血群に該当した。その実情を踏まえ、 卓球部の栄養教育の実際について報告 した。 |
| 齋 藤 美保子 | (学術論文) 1. 博物館展示論における生け花 の授業 2. 西洋と日本の近代絵画史～浅 井忠を中心に～ | 共著 (齋藤美保子 ・仲田佐和子) 単著 | 平成31年3月 平成30年10月 | 郡山女子大学紀要55 号 福島の進路 | 学芸員資格の必修科目である「博物館 展示論」では美術品や工芸品の理解鑑 賞と展示の実践を教授する。その中で、 花を生けて見せることにより、日本の 美学に気付かせると共に、展示に不可 欠なバランス感覚を養う実践を報告し た。 連載「私の研究」のひとりとして、本 学所蔵の浅井忠筆「デッサン草屋根」 の分析を契機に明治の洋画家、浅井忠 の画業と日仏交流を研究してきた筆者 のライフワークをまとめた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|---|--|
| 知野 愛 | (学術論文) 1. 研究ノート「生活改善普及事業における農村生活史聞き取り調査について」 | 単著 | 2019年3月 | 「郡山女子大学紀要」第55集 | 昭和48年から12年間の農林省生活改善課による農村生活史聞き取り調査報告書を分析した。生活改良普及員・専門技術員が調査し、暮らし改善のために生活史を知ることを重視していた。 |
| | 2. 「大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として－」 | 共著 | 2018年12月 | 『日本キャリア教育学会第40回研究大会研究発表論文集』202～203頁 日本キャリア教育学会 | 大学におけるキャリア教育について、郡山女子大学を例として、理念と全体像、キャリアデザインⅠの内容を踏まえ、現在の課題と今後の方向性を考えた。 |
| | (その他) 1. 教材『キャリアデザイン』 | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会 | 共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の授業内容を検討し、教材集を作成した。第7回執筆担当。 |
| 山口 猛 | (学術論文) 1. 普及状況からみた原理の理解を必要とする電気製品 | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 普及状況を把握し、小学校・中学校・高等学校の教員が原理を理解しておくべき電気製品を明らかにした。 |
| | 2. 伸び率を用いた成績評価指標の改善 | 共 | 採録 | 大学入試研究ジャーナル | 正答率の伸び率を用いた指標を導入し、導入した指標が適切な成績評価の指標となっていることを示した。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------|---|-------------|----------------|---------------------------------|--|
| | (その他) | | | | |
| | 1. マインドマップとループリックの組合せによる学修過程評価の試み (ポスター発表) | 単 | 2018年8月 | 日本リメディアル教育学会 | 評価・指導基準が曖昧なアクティブラーニング系科目 (ボランティア) において、学習過程評価方法の提案を行った。 |
| | 2. 地域連携教育「ボランティア活動」の取り組み～マインドマップとループリックを用いた学修支援～ (寄稿) | 単 | 2019年2月 | とうほう地域総合研究所 福島の進路 2019年2月号 | 本学の地域連携教育の取組み (ボランティア活動) の紹介に加え、学修方法の工夫について紹介した。 |
| | 3. キャリアデザイン (教材) | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会 | 共通基礎科目キャリアデザインIの授業内容を検討し、教材集を作成した。 |
| | 4. 大学におけるキャリア教育－郡山女子大学を例として (ポスター発表) | 共 | 2018年12月 | 日本キャリア教育学会第40回研究大会 | 郡山女子大学のキャリア教育の特徴と課題をポスター・セッション形式で発表した。 |
| 阿 部 優 子 | (著書) | | | | |
| | 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 秋から冬」 | 共著 | 平成30年 9月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のおかず いわし・さばなど」 | 共著 | 平成30年 12月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|---|---------|--------------------|---|---|
| | 3. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「炊き込みご飯 おにぎり」 | 共著 | 平成31年 2月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | (その他) 1. 福島県の家庭料理 主菜の特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方の主菜 - | 共同 | 平成30年 8月30日～31日 | 一般社団法人日本調理科学会 平成30年度大会(武庫川女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表 | 前年に引き続き、今回は「主菜」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「主菜」の特徴について報告した。 |
| 坂上 茂 | (その他) 1. 福島における「凍みの食文化」の継承と発展のために - 凍みもちの作製と利用について - | 単著 | 2018年10月 | 福島の進路 435、48-51 | 葛尾村と大学の連携協定に基づいて研究している凍みもちについて栄養成分とオヤマボクチの栽培を中心に紹介した。 |
| 會田 久仁子 | (著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 秋から冬」 | 共著 | 平成30年 9月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のおかず いわし・さばなど」 | 共著 | 平成30年 12月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|--------------------|--|--|
| | 3. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「炊き込みご飯 おにぎり」 | 共著 | 平成31年 2月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | (その他) 1. 福島県の家庭料理 主菜の特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方の主菜 - | 共同 | 平成30年 8月30日～31日 | 一般社団法人日本調理科学会 平成30年度大会 (武庫川女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表 | 前年に引き続き、今回は「主菜」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「主菜」の特徴について報告した。 |
| 水野時子 | (学術論文) 1. 女子高校生における貧血の程度と女子卓球部の栄養教育の実践について | 共著 | 2019年2月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 女子高校生を対象として非観血的ヘモグロビン値の測定を実施した結果、約18%が貧血群に該当した。その実情を踏まえ、卓球部の栄養教育の実践について報告した。 |
| | (口頭発表) 1. 郡山産『鯉』の栄養成分 | 共同研究 | 2018年12月4日 | 第30回福島県栄養改善学会 (郡山市労働福祉会館) | 郡山産「鯉」の一般成分、機能性成分 (遊離アミノ酸組成・脂肪酸組成)、部位による成分の差異、茹で調理による成分の変動について検討し報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|---|---------|-----------|---|--|
| 小林 澄枝 | (学術論文) 1. 栄養士養成施設における校外実習の課題～実習施設担当者の評価から～ | 共著 | 2019年2月 | 紀要 第55集 | 校外実習の過去4年間を振り返り事前事後の学生の意識や態度、行動の変化を検討すると共に実習先担当者からの評価から問題点を把握することで、これまでの指導が、適切であったか、学生のニーズに合っていたかを見直し、校外実習の教育内容の充実を図ることを目的として検討した。 |
| 金子 依里香 | (学術論文) 1. 女子大学生における体型の経年変化－2008年から2017年の10年間の推移－ (査読付) (その他) 1. 2018年保存版 ふくしまっ子 食育ハンドブック | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学研究紀要 第55集 | 郡山女子大学および短期大学の学生を対象に、体型の基礎指標と肥満の基礎指標について測定を行った。この10年間で顕著な体型の変化は見られなかった。 p121-132 金子依里香、紺野信弘 |
| 鈴木 奈津子 | (その他) 1. 消毒剤の違いによる生野菜の嗜好性に関する一考察 (示説発表) | 単著 | 2018年11月 | 日本給食経営管理学会 第14回日本給食経営管理学会学術総会 (於：女子栄養大学坂戸キャンパス) | 過酢酸製剤と次亜塩素酸ナトリウムを消毒剤として使用したときの生野菜の嗜好性について調査・検討した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---|--|--------------------|--|---|--|
| 加藤雅子 | (著書) | | | | |
| | 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 秋から冬」 | 共著 | 平成30年 9月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「魚のおかず いわし・さばなど」 | 共著 | 平成30年 12月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | 3. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「炊き込みご飯 おにぎり」 | 共著 | 平成31年 2月1日 | (一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会 | 日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。 |
| | (その他) | | | | |
| | 1. 2018年保存版ふくしまっ子食育ハンドブック | 共著 | 平成30年7月 | 株式会社エフコム福島 | 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。 P24、26 |
| 2. 福島県の家庭料理 主菜の特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方の主菜 - | 共同 | 平成30年 8月30日～31日 | 一般社団法人日本調理科学会 平成30年度大会 (武庫川女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表 | 前年に引き続き、今回は「主菜」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「主菜」の特徴について報告した。 | |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|-----------|-------------------------|---|
| 三瓶令子 | (学術論文) 1. 保育者養成校における領域「表現」授業に関する考察 | 単著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 (原著論文) | 本研究は、保育内容が6領域から5領域に至った経緯を振り返りつつ、本学における領域「表現」の授業について今後の方向性を見出していくことを目的とした。またそこから領域「表現」の授業に携わる教員の養成も喫緊の課題であることを提言した。 |
| | 2. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 ーテキストマイニングによる実習日誌の助言分析ー | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 (原著論文) | 本研究は、実習について、まず養成校の教員間で共有すべき課題を浮き彫りにするため、教育実習における実習担当者の助言および指導に着目。次に、教育実習の日誌における指導者による助言欄のテキストマイニング分析を試み、その内容と傾向を探った。 (柴田 卓・伊藤哲章・猪股照子・仲西真美子・三瓶令子) |
| | (学会ポスター発表) 1. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 ～テキストマイニングによる実習日誌の助言分析～ | | 平成31年3月 | 日本保育者養成教育学会 (東北福祉大学) | 保育実習における学生への指導内容に関する研究について発表した。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------|---|-------------|---------------|---|---|
| | (その他) 1. 学会発表 教育実習における学生への指導内 容に関する研究 －テキストマイニングによる実習 日誌の助言分析－ | 共同 | 平成31年 3月4日 | 日本保育者養成教育 学会 第3回大会 (於：東北福祉大学) ポスター発表 | 本研究は、実習について、まず養成校 の教員間で共有すべき課題を浮き彫り にするため、教育実習における実習担 当者の助言および指導に着目。次に、 教育実習の日誌における指導者による 助言欄のテキストマイニング分析を試 み、もその内容と傾向を探った。 |
| 富士盛 公 年 | (学術論文) 1. 「大学におけるキャリア教育 －郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月 | 『日本キャリア教育 学会第40回研究大会 研究発表論文集』202 ～203頁 日本キャリア教育学 会 | 大学におけるキャリア教育について、 郡山女子大学を例として、理念と全体 像、キャリアデザインⅠの内容を踏ま え、現在の課題と今後の方向性を考え た。 |
| | (その他) 1. 教材『キャリアデザイン』 | 共 | 2019年3月 | 郡 山 女 子 大 学 教 養・キャリア教育委 員会 | 共通基礎科目キャリアデザインⅠの授 業内容を検討し、教材集を作成した。 |
| | 2. 発表「大学におけるキャリア 教育－郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月9日 | 日本キャリア教育学 会第40回研究大会 | 郡山女子大学のキャリア教育の特徴と 課題をポスター・セッション形式で発 表した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---------|--|---------|---------------|---------------------------------------|--|
| 一 柳 智 子 | (学術論文) 1. 平常回帰：民俗芸能による災害対応力 | 単 | 平成31年 3月予定 | 民族藝術学会 | 東日本大震災後7年半が経過した福島県の復興状況と災害対応力を、津波被災地の2つの田植踊り保存会の動向から考えた。人々は、災害の事実及び復興過程の現在とうまく折り合いを付けながら力強く生活していることがわかった。 |
| | (その他) 1. 「福島は民俗芸能の災害研究で世界のイニシアティブをとれるか」 | 単 | 平成30年5月 | 財界ふくしま5月号 | 福島県には民俗芸能が豊富に伝承されてきた歴史がある。東日本大震災後、人々の復興過程に大いに役立った存在として注目を浴び、福島県は研究者及び行政担当者が多く研究され、多大なる業績の蓄積ができた。この蓄積は、ユネスコの無形文化遺産保護活動に役立てることはできないものだろうか。 |
| 小 林 徹 | (著書) 1. 保育士等キャリアアップ研修テキスト3障害児保育 | 共著 | 平成30年4月 | 中央法規出版 A4型114頁 (分担) pp83-104 | 監修：秋田喜代美、馬場耕一郎 編集：松井剛太 執筆者：小林徹ほか4名 「保育士等キャリアアップ研修」のテキスト。第5章「家庭および地域との連携」を担当した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|--|---------|------------|---------------------------------------|--|
| | 2. 小学校 学級担任のためのよくわかるインクルーシブ教育 課題解決Q&A | 共著 | 2019年1月23日 | 開隆堂出版 B 5 型160頁 (分担) pp60-61 | 編著者：半澤嘉博 著者：小林徹ほか29名 本書は「インクルーシブ教育」の重要性とその際に生じる様々な課題を小学校の担任教諭が解決するための具体的な方策を解説する。筆者はQ13「中学高校への進路指導への配慮」を担当した。 |
| | 3. 小・中学校 管理職のためのよくわかるインクルーシブ教育 課題解決Q&A | 共著 | 2019年1月23日 | 開隆堂出版 B 5 型136頁 (分担) pp70-71 | 編著者：半澤嘉博 著者：小林徹ほか26名 本書は「インクルーシブ教育」の重要性とその際に生じる様々な課題を管理職が解決するための具体的な方策を解説する。筆者はQ11「特別支援学級を運営する際の留意事項」を担当した。 |
| | (その他) (学会発表) | | | | |
| | 1. 早期支援を実現する関係機関の連携 | 共同 | 平成30年11月 | 日本特別ニーズ教育学会 第24回研究大会 (大阪体育大学) | (企画) 小林徹・榎木暢子(司会) 早川透(話題提供) 榎木暢子・今村幸子・栗山宣夫(指定討論) 奥住秀之 障害児に対し早期から一貫した支援を継続的に行うために保幼小連携の重要性が指摘されている。本ラウンドテーブルではさらに多くの関係機関の連携(保育現場、病気の子どもの支援、発達相談の立場から)の報告に基づき、早期支援を支える関係機関の連携の現状と課題を検討した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|--|---------|------------------------------------|---------------------|--|
| 早川 仁 | (その他) 1. 福島県総合美術展覧会（福島県文化センター）（洋画の部） 「嫁ぐ日」 | 単著 | 2018年 会期 6/15（金）～ 6/24（日） | 福島県 | 県文化センター F-50号キャンパス・油彩 委嘱出品 |
| | 2. 福島県県南美術展「虹の根」 | 単著 | 9/21（金）～ 9/24（月） | 福島県県南美術協会 | 郡山市文化センター F-50号キャンパス・油彩 *会員奨励賞受賞 |
| | 3. 現代童画展「夏冬図」 | 単著 | 11/10（金）～ 11/16（木） | 現代童画会 | 東京都美術館 F-50号×2点 キャンパス・油彩 |
| 草野 葉子 | (その他) 〈作品発表〉 1. 第68回モダンアート展 | 単 | 2018年4月 | 東京都美術館 | 作品：「そこにある宇宙 2018-I」 植物をモチーフとした構成。 |
| | 2. 第6回ふくしま在住作家展 | 単 | 2018年7月 | アートスペース羅針盤 | 作品：「そこにある宇宙 2018-II」 植物をモチーフとした構成。 |
| | 3. 第33回モダンアート福島支部展 | 単 | 2018年8月 | AOZ（アオウゼ） | 作品：「そこにある宇宙 2018-III」 植物をモチーフとした構成。 |
| 山上 裕子 | (学術論文) 1. 近年のプラグマティズムにおける経験概念の位置 -教育の視点から- | 単著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要 | 経験を重視しない分析哲学の流れにあるプラグマティズムの議論を整理し、教育学上、経験を考える観点を示した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|---------------------|---|
| 折笠国康 | (学術論文) 1. 中学生の学校ストレスが学校忌避的感情と関係性攻撃に与える影響、及び、本来感によるストレス低減効果 | 共著 | 2019年3月 | 学級経営心理学会 | 本研究は、中学生の学校ストレスが学校忌避的感情と関係性攻撃に与える影響、本来感による学校ストレス、学校忌避的感情、関係性攻撃の低減効果を検討することを主な目的とした。学校忌避的感情には学校ストレスのすべての因子が正の影響を及ぼし、関係性攻撃には学校ストレスの「教師の無配慮」因子のみが正の影響を与えていた。本来感は、学校ストレスのすべての因子に対し負の影響を与え、学校忌避的感情に直接的に負の影響を与えることが確認された。 |
| 永瀬悦子 | (著書) 1. 『乳児保育－子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み－』 | 共著 | 2018年9月 | 教育情報出版 | 編著者：入江慶太 筆者は以下を執筆した。 第4章2節 生後0か月～6か月未満児の粗大運動の発達と保育 第4章5節 生後0か月～6か月未満児の自我と社会性の発達と保育。 |
| | (学術論文) 1. 保育者養成課程における乳幼児救急蘇生法に関する研究～過去の学習方法と演習後の学びに着目して～ | 単著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要55集 | 保育者養成校における乳幼児救急蘇生法の演習前後の学びの変化と過去の受講形態、演習後の学びを明らかにした。 |
| | 2. 福島県における家庭内出産が減少した要因に関する研究 | 単著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要55集 | 福島県における家庭内出産が減少した要因を多方面から分析しまとめた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|---|--|
| | (その他) 「口頭発表」 | | | | |
| | 1. 幼児教育学科学生を対象とした救急蘇生法の習得度に関する研究～最終受講からの時間経過と受講形態に着目して～ | 単独 | 2018年5月 | 日本保育学会『第71回日本保育学会大会発表要旨集』 (宮城学院女子大学) | 救急蘇生を受講してからの時間経過と受講形態との関係から救急蘇生の習得度を分析した。 |
| | 2. 『乳児保育－子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み－』指導書 | 共著 | 2019年1月 | 教育情報出版 | 第4章2節、第4章5節の指導案を執筆した。 |
| 伊藤哲章 | (著書) | | | | |
| | 1. 「初等理科教育の内容の柱③－生命とその認識－」 | 共著 | 平成30年7月 | 『初等理科』大高泉編著、ミネルヴァ書房 | 小学校教員志望者向けのテキストとして、新小学校学習指導要領の生命領域に関する内容を取り上げ解説した。 |
| | 2. 「生活科学習指導案」 | 共著 | 平成30年12月 | 『教職課程』、協同出版 | 小学校教員採用試験受験者向けに、小学校生活科の学習指導案の作成について解説した。 |
| | 3. 「幼児期における生物概念の獲得－素朴生物学に着目して－」 | 単著 | 平成31年3月 | 『福島の進路』、とうほう地域総合研究所 | 幼児期における科学教育の重要性について幼児を対象とした調査を行い、素朴生物学の視点からまとめた。 |
| | (学術論文) | | | | |
| | 1. 「幼児の素朴生物学の獲得時期に関する調査研究」 | 共著 | 平成30年11月 | 『白鷗大学教育学部論集』、第12巻 第2号 | 幼児の生命概念の獲得に関して調査を行い、その特質を明らかとした。 |
| | 2. 「保育内容環境における運動あそびの実践に関する研究」 | 共著 | 平成31年3月 | 『郡山女子大学紀要』、第55集 | 日常生活に取り入れることが可能な運動あそびを幼稚園の保育室の壁面や廊下で実践し、その有効性や課題等を探った。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|-----|--|-------------|---------------|--------------------------|---|
| | 3. 「デンマークの自然保育における保育環境とリスクに関する研究－森の保育園実践家によるインタビューを中心に－」 | 共著 | 平成31年 3月 | 『郡山女子大学紀要』、第55集 | 自然保育に焦点を絞り、一日中森の中で過ごすデンマークの森の保育園の実践家にインタビューを試み、その特質を明らかとした。 |
| | 4. 「教育実習における学生への指導内容に関する研究－テキストマイニングによる実習日誌の助言分析－」 | 共著 | 平成31年 3月 | 『郡山女子大学紀要』、第55集 | テキストマイニングの手法を用いて教育実習における助言内容について分析し、その傾向と課題等を明らかにした。 |
| | (学会発表) | | | | |
| | 1. 「幼児の心的特性及び身体的特性の認識」 | 単独 | 平成30年 8月 | 日本科学教育学会 (信州大学) | 幼児における心的特性及び身体的特性の認識について面接調査をもとに明らかとし、その特徴を発表した。 |
| | 2. 「幼児の身体現象の理解に関する研究－幼小連携における円滑な接続のために－」 | 単独 | 平成30年12月 | 日本科学教育学会研究 会 (福島大学) | 円滑な幼小接続を行うために、幼児の身体現象の理解について面接調査をもとに明らかにし、その特徴を発表した。 |
| | 3. 「保育者の虫嫌いの状況に関する調査－保育者希望の大学生や一般女性との比較から－」 | 共同 | 平成31年 1月 | 日本生物教育学会 (愛知教育大学) | 保育者の虫嫌いの状況について、保育者希望の大学生や一般女性との比較し、その特徴を発表した。 |
| | 4. 「教育実習における学生への指導内容に関する研究－テキストマイニングによる実習日誌の助言分析－」 | 共同 | 平成31年 3月 | 日本保育者養成教育 学会 (東北福祉大学) | テキストマイニングの手法を用いて教育実習における助言内容について分析し、その傾向を明らかにして発表した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-----|--|---------|-----------|---------------------|--|
| 柴田卓 | (著書) 1. 北欧スウェーデン発 科学する心を育てるアウトドア教育 | 共著分担 | 平成31年3月 | 北大路書房 | TEACHING TECHNOLOGY OUTDOORの翻訳本である。第3章、4章、日本の自然保育事例担当。 |
| | (学術論文) 1. デンマークの自然保育における保育環境とリスクに関する研究－森の保育園実践者によるインタビューを中心に－ | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | デンマークの自然保育実践者3名に対し、保育環境とリスクに関するインタビュー調査を実施し、考察を加えた。 |
| | 2. 教育実習における学生への指導内容に関する研究－テキストマイニングによる実習日誌の助言分析－ | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 教育実習の日誌における保育者の助言欄に対し、テキストマイニング分析を試み、その傾向を明らかにした。 |
| | 3. 保育内容「環境」における運動あそびの実践に関する研究 | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 保育内容「環境」の授業として、附属幼稚園で運動遊びを企画・実施した学生の学びに対して、考察を加えた。 |
| | (学会発表) 1. 自然保育における保育者の視点に関する研究 単 | 単 | 平成30年6月 | 日本野外教育学会第21回大会 抄録集 | 自然保育の実践において「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの視点から、子どもの成長を捉えた事例を報告した。 |
| | 2. 教育実習における学生への指導内容に関する研究－テキストマイニングによる実習日誌の助言分析－ | 共同 | 平成31年3月 | 第3回日本保育者養成教育学会大会 | 教育実習の日誌における保育者の助言欄に対し、テキストマイニング分析を試み、その傾向から本学の実習指導における課題を提示した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|---|---------|-----------|---------------------|--|
| 猪股照子 | (学術論文) 1. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 ～テキストマイニングによる実習 日誌の助言分析～ | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 教育実習の日誌における指導者による助言欄のテキストマイニング分析を試みその内容と傾向を明らかにすることを目的とした。 (柴田卓 伊藤哲章 三瓶令子 猪股照子 仲西真美子) |
| | (その他) 1. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 ～テキストマイニングによる実習 日誌の助言分析～ ポスター発表 | 共同 | 平成31年3月 | 日本保育者養成教育学会(東北福祉大学) | 教育実習における学生への指導内容に関する研究について発表した。 |
| 仲西真美子 | (学術論文) 1. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 －テキストマイニングによる実習 日誌の助言分析－ | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 教育実習における保育者の助言欄に対しテキストマイニング分析を試み、その内容と傾向を明らかにした。(柴田卓・伊藤哲章・猪股照子・仲西真美子・三瓶令子) |
| | (その他) 1. 教育実習における学生への指導内容に関する研究 －テキストマイニングによる実習 日誌の助言分析－ | 共同 | 平成31年3月 | 日本保育者養成教育学会(東北福祉大学) | 教育実習日誌における保育者の助言欄に対しテキストマイニング分析を試み、その内容と傾向を発表した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-----------|---|--|
| 星野朋子 | (学術論文) 1. 「保育内容環境における運動あそびの実践に関する研究」 | 共著 | 平成31年3月 | 『郡山女子大学紀要』、第55集 | 日常生活に取り入れることが可能な運動あそびを幼稚園の保育室の壁面や廊下で実践し、その有効性や課題等を探った。 |
| 浅野章 | (著書) 1. 国画13の視線展 | 単 | 2018年4月 | ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座 | 「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した作品「金のイヤリング」を含め、2点を発表。 |
| | 2. 浅野アキラ絵画展 | 単 | 2018年4月 | ギャラリー Art For Thought 東京都中央区銀座 | 同上テーマの作品「madonna」を含め15点を発表。 |
| | 3. 第92回国展 | 単 | 2018年5月 | 国立新美術館 東京都港区六本木 その後、愛知県美術館・大阪市立美術館・福岡市立美術館を巡回 | 同上テーマの大型作品「大いなるもの」(227×182cm)、1点を発表。 |
| | 4. 第72回福島県総合美術展 | 単 | 2018年6月 | 福島県文化センター 福島市 | 同上テーマの作品「ダンスダンス」、1点を発表。 |
| | 5. 遊A会展 | 単 | 2018年6月 | ギャラリー柏屋 郡山市 | 同上テーマの作品「こんな月夜に」を含め2点を発表。 |
| | 6. 浅野アキラ展 | 単 | 2018年8月 | ギャラリー惣 東京都中央区銀座 | 同上テーマの作品「ホットな関係」を含め21点を発表。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--------------------------------|---------|-----------|---------------------|--|
| | 7. 第62回郡山市総合美術展 | 単 | 2018年11月 | 郡山市文化センター 郡山市 | 同上テーマの作品「緑の饗宴」、1点を発表。 |
| 齊藤弘久 | (著書) | | | | |
| | 1. 第90回新構造展 | 単著 | 2018年6月 | 東京都美術館 | 「一子地」 ジクレー・リトグラフ |
| | 2. 第64回福島水彩展 | 単著 | 2018年7月 | けんしん郡山文化センター | 「Toh-Gin (当今) 2018」 ジクレー・リトグラフ |
| | 3. 第56回新構造社埼玉支部展 | 単著 | 2018年7月 | 埼玉県立近代美術館 | 「Marura-Zoku 2018」 シルクスクリーン・リトグラフ・ジクレー |
| | 4. 第33回埼玉県版画家協会展 | 単著 | 2018年8月 | 川越市立美術館 (埼玉県) | 「Toh-Gin (当今) 2018- 2」 シルクスクリーン・ジクレー |
| | 5. 第56回大洋美術協会展 | 単著 | 2018年10月 | 東京銀座 交通会館 ギャラリー | 「Ozu-nu 2018」 シルクスクリーン・ジクレー |
| | 6. 第7回新構造東京展 | 単著 | 2019年2月 | 六本木 国立新美術館 | 「Ja-taka」 ジクレー |
| | 7. 小品展+チャリティー展 (埼玉県版画家協会主催) | 単著 | 2019年3月 | ギャラリー麦 (埼玉県狭山市) | 「Kumu-Tora」 ジクレー |
| 小松太志 | (作品発表) | | | | |
| | 1. 第68回モダンアート展 | 単著 | 2018年4月 | 東京都美術館/東京都台東区 | 美術団体モダンアート協会主催の美術展。出品作品：「quiet forest」優秀賞・損保ジャパン日本興亜美術財団奨励賞。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|--|---------|-----------|-----------------------|--|
| | 2. 第六回ふくしま在住作家展 | 単著 | 2018年7月 | アートスペース羅針盤 | 福島を拠点とする作家のグループ展。出品作品：「as long as…」 |
| | 3. 第33回モダンアート福島支部展 | 単著 | 2018年7月 | ビッグアイ展示室 | 美術団体モダンアート協会福島支部会員による展覧会。出品作品：「森層」「as long as…」 |
| | 4. 第29回日本基礎造形学会埼玉(越谷)大会作品展 | 単著 | 2018年9月 | 文教大学越谷キャンパス12号館 | 日本基礎造形学会の作品展。出品作品：「quiet forest III」 |
| | 5. 2018年度モダンアート受賞作家展 | 単著 | 2018年9月 | ギャラリー檜 B・C | 第68回モダンアート展の受賞者による展覧会。出品作品：「quiet forest II」 |
| | 6. Play in あだたら2018 | 単著 | 2018年9月 | あだたら高原美術館 青-ao- | あだたら高原美術館主催によるアートイベント。出品作品：「森層」 |
| | 7. HINOKI ANNUAL 2017-2018 (デザイン制作) | 単著 | 2018年12月 | ギャラリー檜 | ギャラリー檜主催の展覧会。出品作品：「as long as…」 |
| | 1. 福島さくら農業協同組合のトマトジュースパッケージデザイン制作 | 単著 | 2018年7月 | 福島さくら農業協同組合 | 販売：福島さくら農業協同組合、製造：カゴメ株式会社のトマトジュース〔低塩〕(90,000缶)のパッケージおよびPRツールをデザイン制作した。 |
| | 2. 福島さくら農業協同組合の米粉商品のロゴデザイン制作 | 単著 | 2018年10月 | 福島さくら農業協同組合 | 福島さくら農業協同組合の依頼により、米粉商品のロゴおよびラベルデザインを提案した。 |
| | 3. 葛尾電力株式会社のCIデザイン制作 | 単著 | 2019年2月 | 葛尾電力株式会社、葛尾村、福島発電株式会社 | 「スマートコミュニティによる葛尾村の復興モデル事業」として設立される葛尾電力株式会社のロゴ及びVI、SPツール等をデザイン制作した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--------------------------------|---------|---------------------|---|---|
| | (機関誌) 1. 私の研究「地域連携とデザイン」 | 単著 | 2018年12月 | 福島の進路 No.436 p.35-38、一般財団法人 とうほう地域総合研究所 | 大学の地域連携活動における美術・デザイン分野の取り組みについて事例を紹介した。 |
| 松田理香 | (作品発表・展示会等) 1. 2018現代童画会春季展 | 単 | 2018年4月1日 ～7日 | 会場：銀座アートホール（東京都中央区銀座） | 主催：現代童画会 作品名：「Shield -kasa-」 (S8号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 |
| | 2. 2018現代童画会選抜展 | 単 | 2018年8月19日 ～25日 | 会場：銀座アートホール（東京都中央区銀座） | 主催：現代童画会 作品名：「天泣」(S8号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 |
| | 3. 現代童画会2018関西展 | 単 | 2018年9月5日 ～9日 | 会場：原田の森ギャラリー東館（兵庫県立美術館王子分館） | 主催：現代童画会 作品名：「天泣」(S8号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 |
| | 4. 第44回現代童画展 | 単 | 2018年11月10日 ～16日 | 会場：東京都美術館（東京都） | 主催：現代童画会 作品名：「観天望気」(S80号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 |
| | 5. 生芸63年のあゆみと現教職員作品展 | 単 | 2019年2月6日 ～11日 | 会場：学校法人郡山開成学園建学記念講堂 | 主催：生活芸術科 作品名：「天球探査」(S80号) 「観天望気」(S80号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 |
| 黒沼令 | (その他) 1. 第92回国展彫刻部 | 単 | 平成30年5月 | 国立新美術館 東京都中央区 | 団体公募展。会員として「漂う人」 (220×120×100cm 樺・桂・水木) 出品。 |

| 氏 名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著 の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|-----|------------------------------------|-------------|---------------|-------------------------------|---|
| | 2. 第72回福島県総合美術展 | 単 | 平成30年6月 | 福島市文化センター 福島県福島市 | 福島県主催の公募展。審査員として「漂う人」(220×120×100cm 樺・桂・水木) 出品。 |
| | 3. 二日展 | 単 | 平成30年8月 | 福島テルサ 福島県福島市 | 福島県の教員を中心としたグループ展。「風」(70×20×15cm 樺・ヒメコマツ)「貌-Ⅱ」(40×20×20cm テラコッタ) 出品。 |
| | 4. 不來方高校美術工芸コース OB展 | 単 | 平成30年8月 | 県民情報交流センター アイーナ 岩手県盛岡市 | 共同展示会。「雲居」(60×15×15cm 楠・樺)「受容」(70×30×20cm 樺・檜) 出品。 |
| | 5. あいづまちなかアートプロジェクト 新しいAIZUの美術展 | 単 | 平成30年10月 | 会津稽古堂 福島県会津若松市 | 共同展示会。「漂う人」(220×120×100cm 樺・桂・水木)「眩く人」(160×80×80cm 桂・エゾ松)「物思いⅡ」(75×35×25cm 桂・朴) 出品。 |
| | 6. 福島青年美術の展望展2018 | 単 | 平成30年11月 | あだたら高原美術館 青-ao- 福島県二本松市 | 共同展示会。「風」(70×20×15cm 樺・ヒメコマツ)「静思」(170×50×350cm 樺・桂) 出品。 |
| | 7. 第54回福島県彫刻会展 | 単 | 平成30年11月 | 福島市文化センター 福島県福島市 | 共同展示会「失う人」(50×20×20cm 朴)「憂う人」(65×30×35cm 樺・栲) 出品。 |
| | 8. 第62回郡山市総合美術展 | 単 | 平成30年11月 | 郡山市文化センター 福島県郡山市 | 郡山市主催の公募展。招待として「貌-Ⅰ」(40×20×20cm テラコッタ) 出品。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---------------------------|---------|---------------------------------------|-------------------------|---|
| | 9. 第71回岩手芸術祭美術展 | 単 | 平成30年11月 | 岩手県民会館 岩手県盛岡市 | 岩手県主催の公募展。「貌－Ⅱ」(40×20×20cm テラコッタ) 出品。 |
| | 10. 第41回国展彫刻部秋季展 | 単 | 平成30年11月 | 東京都立美術館 東京都台東区 | 共同展示会。国画会彫刻部の会員、準会員、受賞作家による展覧会。「失う人」(50×20×20cm 朴)「憂う人」(65×30×35cm 樺・櫨) 出品。 |
| 米本順子 | (その他) | | | | |
| | 1. 第92回国展 | 単 | 平成30年 5月2日～14日 | 東京六本木国立新美術館(東京都港区六本木) | 団体公募展。 『yura-yura』F130号。 |
| | 2. 第72回福島県総合美術展覧会 | 単 | 平成30年 6月15日～24日 | とうほう・みんなの文化センター(福島県福島市) | 団体公募展。 『koi-koi』S50号。 |
| | 3. 二日展 | 単 | 平成30年 8月11・12日 | 福島テレサ(福島県福島市) | グループ展。 『koi-koi』S50号。 |
| | 4. Virgo展 | 単 | 平成30年 9月24日～29日 | 銀座 樺画廊(東京都中央区銀座) | グループ展。 『Hello』S100号 『meet』130×324cm 計2点。 |
| | 5. あだたらの視点2018「福島青年美術の展望」 | 単 | 平成30年 11月3日～5日、 10日～12日 (前期) | あだたら高原美術館青-ao-(福島県二本松) | グループ展。 『u ne ru』F30号 『two』F 3号 計2点。 |
| | 6. 生芸63年のあゆみと現教職員作品展 | 単 | 平成31年 2月6日～11日 | 郡山女子大学建学記念講堂(福島県郡山市) | グループ展。 『Hello』S100号。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|--|---------|--------------------|----------------------|--|
| | 7. 第2回コレカラノヒトタチ展 | 単 | 平成31年 2月18日～24日 | 銀座ギャラリーあづま（東京都中央区銀座） | グループ展。 『Sign』F20号 『one』F4号 計2点 |
| 横溝聡子 | (研究レポート) 1. 保育者養成校におけるピアノ指導法 ーアンサンブル曲に着目してー (査読付) | 単著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要 第55集 | 保育者養成校における使用教材を分析し、ピアノ指導におけるアンサンブル曲の学修効果と学習時期についての考察を行った。 |
| | (報告) 1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価採点集計への試み (査読付) | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要 第55集 | 音楽科実技演奏のルーブリック評価における採点集計の効率化を図るため、PCを用いた試みを行った。共著者：深谷悠里絵、磯部哲夫、南川 肇、横溝聡子。 |
| | (その他) 「演奏」 1. 音楽の始まりからポピュラーミュージックまで | 単 | 2018年5月12日 | 郡山女子大学建学記念講堂小ホール／福島県 | 音楽科教員による講義と演奏の中でピアノソロを担当。 ピアノソラ：リベルタンゴ 他1曲を演奏。 |
| | 2. 福島楽友協会合唱団第61回定期公演 | 共 | 2018年12月24日 | けんしん郡山文化センター中ホール／福島県 | 福島楽友協会合唱団のピアノ伴奏を担当。 ブラームス：悲歌、モーツァルト：戴冠ミサの2曲を演奏。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|------------|---------------------|--|
| | 3. 福島楽友協会合唱団第62回定期公演 | 共 | 2019年1月27日 | 福島市音楽堂大ホール／福島県 | 福島楽友協会合唱団のピアノ伴奏を担当。 ブラームス：悲歌、モーツァルト：戴冠ミサの2曲を演奏。 |
| 磯部哲夫 | (学術論文) 1. 「幼小接続期における修辭学的音楽解釈を取り入れた歌唱研究」 (査読付) | 単著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 将来保育者や初等教育の指導者になる保育者養成課程や初等教育養成課程の学生を対象に、指導者がどのように歌を歌えばよいか、フィグーラによる修辭学的音楽解釈を取り入れた歌唱法を検証し、歌唱のポイントを考察した。 |
| | (その他) 「報告書」 1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価採点集計への試み (査読付) | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 音楽科実技演奏のルーブリック評価における採点集計の効率化を図るため、PCを用いる試みを行った。 共著者：深谷悠里絵、磯部哲夫、南川肇、横溝聡子。 |
| 南川肇 | (学術論文) 報告 1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価採点集計への試み (査読付) | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 音楽科実技演奏のルーブリック評価における採点集計の効率化を図るため、PCを用いる試みを行った。共著者：深谷悠里絵、磯部哲夫、南川肇、横溝聡子。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|-------------------------------------|---------|-------------------|---------------------|--|
| | (その他) 演奏 | | | | |
| | 1. 会津大学管弦楽団Dolce第17回定期演奏会 | 単 | 2018年5月20日 | 会津風雅堂 | ベートーヴェン交響曲第8番他 指揮を担当。 |
| | 2. 東京クラリネットフィルハーモニー. サマーキャンプコンサート | 共 | 2018年 8月13~14日 | 蔵王アストリアホテル | サン＝サーンス英雄行進曲・バーンスタイン/キャンディード他 |
| | 3. アンサンブル ムメ コンサート | 共 | 2019年2月11日 | 山形市文翔館議場ホール | J.S.バッハ/シャコンヌ(クラリネット2重奏版) |
| | 4. 東京クラリネットフィルハーモニー第36回定期演奏会 | 共 | 2019年3月30日 | 旧東京音楽学校奏楽堂 | チャイコフスキー/序曲1812年他 |
| 深谷 悠里絵 | (学術論文) | | | | |
| | 1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価採点集計への試み(査読付) | 共著 | 平成31年3月 | 郡山女子大学紀要第55集 | 音楽科実技演奏のルーブリック評価における採点集計の効率化を図るため、PCを用いた試みを行った。共著者：深谷悠里絵、磯部哲夫、南川 肇、横溝聡子。 |
| | (その他) 演奏 | | | | |
| | 1. 音楽の始まりからポピュラーミュージックまで | 共 | 平成30年 5月12日 | 建学記念講堂小ホール/福島県 | 南川肇講師のクラリネットソロのピアノ伴奏 |
| | 2. TBCこども音楽コンクール小学校の部 | 共 | 平成30年 8月18日 | 福島県文化センター/福島県 | 郡山市立朝日ヶ丘小学校合唱部のピアノ伴奏 東北大会出場 「地球が輝くために」 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------------------|--|---------|----------------|--|--|
| | 3. 郡山市合唱祭 小学校の部 | 共 | 平成30年 8月22日 | けんしん郡山文化センター／福島県 | 郡山市立朝日ヶ丘小学校合唱部のピアノ伴奏 県大会出場 課題曲「出発」自由曲「地球が輝くために」 |
| | 4. 郡山市合唱祭 中学校の部 | 共 | 平成30年 8月23日 | けんしん郡山文化センター／福島県 | 郡山市立安積中学校合唱部のピアノ伴奏 課題曲「Gifts」自由曲「或る風に寄せて」 |
| | 5. 福島県合唱祭 小学校の部 | 共 | 平成30年 8月29日 | 福島市音楽堂／福島県 | 郡山市立朝日ヶ丘小学校合唱部のピアノ伴奏 東北大会出場 課題曲「出発」自由曲「地球が輝くために」 |
| | 6. 福島県合唱連盟コンクール 小学校の部 | 共 | 平成30年 9月1日 | 会津風雅堂／福島県 | 郡山市立朝日ヶ丘小学校合唱部のピアノ伴奏 金賞 県教育長賞 「地球が輝くために」 |
| | 7. 福島県合唱連盟コンクール 中学校の部 | 共 | 平成30年 9月1日 | 会津風雅堂／福島県 | 郡山市立安積中学校合唱部のピアノ伴奏 東北大会出場 「或る風に寄せて」 |
| | 8. NHK合唱コンクール 東北 大会 | 共 | 平成30年 9月9日 | 名取市文化会館／宮城県 | 郡山市立朝日ヶ丘小学校合唱部のピアノ伴奏 銅賞 課題曲「出発」自由曲「地球が輝くために」 |
| | 9. 全日本合唱コンクール東北支 部大会 | 共 | 平成30年 9月30日 | 多賀城市文化センター／宮城県 | 郡山市立安積中学校合唱部のピアノ伴奏 「或る風に寄せて」 |
| 何 燕 生 (福島寅太郎) | (学術論文) 1. 佛教是一個“想像的共同体” 嗎？－太虚佛教革新運動与日本 | 単 | 2018年2月 | 『世界宗教研究』総 第169期、中国社会科 学院（北京）pp.73-86 | 昨年、国際学会で発表した同じタイトルの論文を改稿したもの。詳細は昨年 の目録をご参照のこと。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|-----------------------------------|---------|-----------|--|--|
| | 2. 在日本発見太虚 | | 2018年3月 | 『「太虚与近代中国」国際学術研討会論文集』北京大学仏教研究センター（北京）pp.147-230 | 名古屋の寺院および外務省外交資料館で入手した資料を用いて、太虚と日本仏教との関わりを探った。新しい資料と新しい視点に基づくものである。 |
| | 3. 在Chan・Zen・Seon中穿行的 禅宗学者－金九経 | 単 | 2018年5月 | 『“Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的发展”学術研討会論文集』武漢大学国際禅文化研究センター・東洋大学東洋学研究所国際禅研究プロジェクト・武漢大学哲学学院（武漢）pp.201-228 | 筆者が企画した国際シンポジウムで発表した論文。戦前朝鮮出身の金九経と鈴木大拙、中国の胡適との学術交流、初期禅研究についての業績を新しい資料を使って考察した。 |
| | 4. 12-13世紀東亜禅与儒教：道元对三教一致説的批判 | 単 | 2018年9月 | 『第四回東亜文献与文学中的仏教世界国際学術研討会論文集』浙江工商大学東方語言文学学院（杭州）pp631-645 | 以前、国立台湾大学主催の国際シンポジウムで発表した論文の改稿版。道元の三教一致説批判を通して、12-13世紀の禅と儒教との関わりについて論じた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|--------------------------------|---------|------------|--|---|
| | 5. 「大乘仏教」概念中的日本立場 | 単 | 2018年9月 | 『宗門教下：東亜仏教宗派史的解析、詮釈与重構論文集』第三回中国仏教史論壇、北京大学仏教研究センター、pp227-239 (北京) | 「大乘仏教」という概念の形成とそこに見られる日本仏教の意図を、大正時代に中国を訪問した木村泰賢の中国での講演を通じて探った。概念史研究の一つの成果である。 |
| | 6. 胡適歴史視闕中の臨濟義玄禅学 | 単 | 2018年10月 | 『中国哲学史的多元書写範式暨記念蕭蕙父先生逝世十周年学術研討会論文集』pp109-117 | 初期禅宗史研究の開拓者である胡適の学問的方法論とその特徴および問題点について、臨濟という禅僧についての研究を例に探った。 |
| | (その他) 発表要旨 | | | | |
| | 1. 越境する「日本仏教－近代中国仏教教育における大谷大学」 | 単 | 2018年9月 | 『宗教研究』第99巻別冊、日本宗教学会第77回学術大会紀要 pp150-151 | 筆者が企画したパネルでの研究発表の要旨。近大中国仏教教育における大谷大学の存在について、大正時代の大学の教授稲葉円成の日記を解説する中から探った。 |
| | 2. パネルの趣旨とまとめ | 単 | 2018年9月 | 『宗教研究』第99巻別冊、日本宗教学会第77回学術大会紀要 pp153-154 | 筆者が企画した「仏教と近代アジア」というパネルの趣旨とまとめ。台湾、中国大陸の研究者を招聘して行った共同研究の成果の一つ。 |
| | 新聞投稿 | | | | |
| | 3. 緬懷霍韜晦先生，曾為兩岸学術交流搭橋的“新儒家” | 単 | 2018年6月12日 | 『澎湃新聞』「思想」欄（上海）、中国語 7000字 | 香港出身の新儒家の中で代表的存在だった霍韜晦氏を偲んで、彼と個人的な交流を述べた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----|-------------------------------|---------|-------------|----------------------------|--|
| | 4. 明治維新150年：日本佛教徒「葬式」走向人間 | 単 | 2018年7月20日 | 『澎湃新聞』「歴史市場」欄（上海）中国語15000字 | 中国最大のWebニュースペーパーである『澎湃新聞』（The Paper.cn）が企画した「明治維新150年特集」で、近代化過程における日本仏教の改革について、特に「葬式仏教」論じたる。インタビュー形式である。 |
| | 5. 明治維新150年：世俗与超世俗－走向現代的日本仏教 | 単 | 2018年7月23日 | 『澎湃新聞』「歴史市場」欄（上海）中国語5000字 | 上記のインタビューの続き。 |
| | 6. 日本仏寺里的中国故事：常盤大定与仙台道仁寺 | 単 | 2018年8月30日 | 『澎湃新聞』「歴史市場」欄（上海）中国語10000字 | 仙台にある浄土真宗道仁寺での文献調査についての報告。「研究随筆」という形で発表した。 |
| | 7. 明治維新150年：「武士道」是如何形成的 | 単 | 2018年9月19日 | 『澎湃新聞』「歴史市場」欄（上海）中国語8000字 | 前記の明治維新150周年特集で「武士道」という概念の創出とその宗教的な意味を新渡戸稲造の『武士道』、井上哲治郎の所論などから探った。 |
| | 8. 中国哲学視域下の禪学論述：蕭蕙父『禪宗慧能学派』読後 | 単 | 2018年10月18日 | 『澎湃新聞』「思想」欄（上海）中国語15000字 | 筆者の恩師・蕭蕙父先生の『禪宗慧能学派』について、その学問的位置づけを論じた。蕭蕙父先生死去10周年の記念国際シンポジウムで発表した。 |
| | 9. 過年在日本：仙台熱鬧的新年「初売」 | 単 | 2019年2月7日 | 『澎湃新聞』「歴史市場」欄（上海）中国語5000字 | 仙台のお正月の「初売」についての随筆。フィールドワークをもとにしたもの。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|---------|-------------|--|--|
| 桑野 聡 | (学術論文) 1. 「大学におけるキャリア教育 - 郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月 | 『日本キャリア教育 学会第40回研究大会 研究発表論文集』 日本キャリア教育学 会 202~203頁 | 大学におけるキャリア教育について、 郡山女子大学を例として、理念と全体 像、キャリアデザインⅠの内容を踏ま え、現在の課題と今後の方向性を考え た。 |
| | 2. 「歴史学と「文化学」の形成 - 郡山女子大学短期大学部文化学 科の試み」 | 単 | 2019年3月 | 『郡山女子大学紀要』 第55集 | 今年度で38年の歴史を閉じる文化学科 の模索してきた「文化学」を西洋史学 の立場から考察し、文化史と社会史、 生活の総合学問としての家政学との親 近性の中で位置づけた。 |
| | (その他) 1. 教材『キャリアデザイン』 | 共 | 2019年3月 | 郡山女子大学 教 養・キャリア教育委 員会 | 共通基礎科目キャリアデザインⅠの授 業内容を検討し、教材集を作成した。 |
| | 2. 発表「大学におけるキャリア 教育- 郡山女子大学を例として」 | 共 | 2018年12月9日 | 日本キャリア教育学 会第40回研究大会 | 郡山女子大学のキャリア教育の特徴と 課題をポスター・セッション形式で発 表した。 |
| | 3. 発表「ヨーロッパ前近代の複 合国家 -ブルゴーニュとハプス ブルクに関する報告へのコメント に代えて」 | 単 | 2018年10月13日 | 愛知大学人文社会学 研究所 | 「前近代の複合国家」をテーマに中世 後期のブルゴーニュ公国と近世のハプ スブルク帝国の事例にコメントし、盛 期中世~近世のヴェルフェンの事例を 紹介した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|---|---------|-------------------|---------------------------------------|--|
| 會田 容 弘 | (学術論文) | | | | |
| | 1. 「展望 考古学動作連鎖研究の社会的効用 - 遺跡博物館での活用法 -」 | 単著 | (2018.3) | 『考古学研究』第64巻第4号pp.31-35 | 考古遺物の製作技術を動作連鎖の観点から研究を行うことが遺跡博物館で行われている体験学習に効果的に活用できることを主張した。 |
| | 2. 「2. 上屋地遺跡B地点出土石器群の石器技術学的再検討」 | 単著 | (2018.5) | 東北日本の旧石器文化を語る会編『東北日本の旧石器時代』pp.239-254 | 上屋地遺跡B地点から出土した石器は河川敷に残された石器製作跡の剥片類が水流により擬似細部調整痕が形成されたことを、実験によって証明した。 |
| | 3. 「松本彦七郎博士の里浜貝塚発掘から100年」 | 単著 | (2018.12) | 奥松島縄文村歴史資料館編『里浜貝塚発掘100年』pp.4-9 | 100年前に里浜貝塚を発掘した松本博士の周辺事情と発掘の実態とその成果、その後の里浜調査などを網羅的にレビューした。 |
| | 4. 「福島県笹山原遺跡No.16第18次調査」 | 単著 | (2018.12) | 『第32回 東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』pp17-24 | 笹山原遺跡No.16の2018年調査成果の旧石器部分について報告した。 |
| | (展示) | | | | |
| | 1. 企画展「タイムスリップ! 縄文時代 博士の研究室 発掘ガール多賀城見参!!」 | 共同 | 2018年7月21日から9月24日 | 東北歴史博物館 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示と映像で紹介したもの。 |
| | 2. 展示「発掘ガール」 | 共同 | 2018年9月8日から9月30日 | 大安場史跡公園ガイダンス施設 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示したもの。 |
| | 3. 企画展示『ドキ土器!? 発掘ガール』 | 共同 | 2019年1月10日から2月24日 | 会津若松市歴史資料センターまなべこ | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査の縄文時代を中心とした調査成果を展示と映像で紹介した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|--|---------|-------------------|-------------------------|---|
| | (講演) 1. 「松本彦七郎博士の里浜貝塚発掘から100年」 | 単独 | 2018年11月18日 | 奥松島縄文村歴史資料館 会場：野蒜市民センター | 100年前の松本博士の里浜貝塚発掘の意義を紹介し、以後の調査と考古学的成果を紹介した。 |
| | 2. 第57回「まなべこ」歴史文化講座「湊町の縄文時代」 | 単独 | 2019年2月3日 | 会津若松市歴史資料センターまなべこ | 笹山原遺跡No.16の調査成果を中心に猪苗代湖周辺の縄文人の生活を考古学を用いて復元した。 |
| 仲田 佐和子 | 1. 平成30年度博物館実習報告 | 単著 | 2019年3月 | 『文化学科（資格課程）報告集』第21集 | 博物館学外実習11施設の報告を考察し、次年度の博物館実習授業を展望した。 |
| | 2. 博物館展示論における生け花の授業 | 共著 | 2019年3月 | 郡山女子大学紀要55号 | 学芸員資格の必修科目である「博物館展示論」では美術品や工芸品の理解鑑賞と展示の実践を教授する。その中で、花を生けて見せることにより、日本の美学に気付かせると共に、展示に不可欠なバランス感覚を養う実践を報告した。 |
| | (その他) 1. 企画展「タイムスリップ！縄文時代 博士の研究室 発掘ガール 多賀城見参！！」 | 共同 | 2018年7月21日から9月24日 | 東北歴史博物館 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示と映像で紹介した。 |
| | 2. 展示「発掘ガール」 | 共同 | 2018年9月8日から9月30日 | 大安場史跡公園ガイダンス施設 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示した。 |
| | 3. 企画展「ドキ土器！？発掘ガール」 | 共同 | 2019年1月10日から2月24日 | 会津若松市歴史資料センター（まなべこ） | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査の縄文時代を中心とした調査成果を展示と映像で紹介した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------------------------|---|-------------|----------------------------|---|---|
| 佐藤愛未 | (その他) 展示 | | | | |
| | 1. 企画展「タイムスリップ! 縄文時代 博士の研究室 発掘ガール多賀城見参!!」 | 共同 | 2018年7月21日から9月24日 | 東北歴史博物館 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示と映像で紹介したもの。 |
| | 2. 展示「発掘ガール」 | 共同 | 2018年9月8日から9月30日 | 大安場史跡公園 ガイダンス施設 | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査を展示したもの。 |
| | 3. 企画展示『ドキ土器!? 発掘ガール』 | 共同 | 2019年1月10日から2月24日 | 会津若松市歴史資料センターまなべこ | 郡山女子大学短期大学部による笹山原遺跡No.16発掘調査の縄文時代を中心とした調査成果を展示と映像で紹介した。 |
| (講演) | | | | | |
| 1. 「戊辰戦争と郡山-町人・村人たちの戦い-」 | 単独 | 2018年10月21日 | 福島民報社歴史講座 (於: 本学芸術館大教室) | 慶応4年(1868)に勃発した戊辰戦争において、陸奥国安積郡の二本松領である郡山宿を中心とした、町及び周辺村々の戊辰戦争時の動向について講演を行った。 | |

【社会活動】

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-----|-------------------------------------|--|
| 関口修 | 医療法人安積保養園 あさかホスピタル | 理事 事業計画、収支予算に関する検討 |
| | 一般財団法人短期大学基準協会 | 理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る |
| | 日本私立短期大学協会 | 会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与 |
| | 私立短期大学教育振興会 | 会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応 |
| | 全私学連合代表者会議 | 短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議 |
| | 日本私立学校振興・共済事業団運営審議会 | 委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す |
| | 日本私立大学協会 全 東北支部 | 評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること |
| | 福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会 | 顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す |
| | 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議 | 顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|-------------------------|--|
| 影 山 彌 | 郡山市情報公開審査会 | 委員。 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。 |
| | 郡山市個人情報保護審査会 | 委員。 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。 |
| | 家政学原論部会東北・北海道地区委員 | 当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。 |
| 武 井 玲 子 | 郡山市廃棄物減量等推進審議会委員 | 郡山市の一般廃棄物処理基本計画策定やゴミ処理の各施策について審議提案 |
| | (一社)日本家政学会色彩・意匠学部会 (役員) | 研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与 |
| 山 形 敏 明 | 全国建築系大学教育連絡協議会 | 9月4日(火)「全国建築系大学教育連絡協議会」総会(東北大)において連絡代表責任者として議案について審議した。 |
| 安 田 純 子 | 福島県留学生交流推進会議運営委員会 | 運営委員 留学生交流事業協力、会議等の出席 |
| | 郡山市国際交流協会運営委員会 | 委員 郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席 |
| | 福島県医療福祉関連教育施設協議会 | 理事 事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修準備 |
| 難 波 めぐみ | 福島県文化振興審議会 | 委員 福島県の文化振興を図るため、文化振興審議会が設置され、県の文化振興の在り方等について審議 |
| | 郡山市技能労働者選考委員会 | 委員 技能を通じ郡山市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|------------------------------------|---|
| | 名倉地域公民館主催事業 青少年対象事業「桜塾」 | 青少年に対する社会教育事業の一環として、小学校児童を対象とした体験教室「桜塾」の企画に携わった（平成30年8月8日） |
| | 福島中央テレビ番組審議委員会 | 委審議委員 福島中央テレビ（FCT）課題番組を合評 |
| | 平成30年度教員免許更新講習 | 選択領域家庭講師 教員免許更新講習会受講生を対象に「快適な衣生活」として講義と実習を担当した（平成30年7月31日） |
| | （一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会 | 委員 部会ホームページ担当として会の運営に携わっている |
| | 服飾文化学会 | 理事 庶務として会の運営に携わっている |
| 熊 田 伸 子 | 福島県介護サービス苦情処理委員会 | 委員 福島県国民健康保険団体連合会で受付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した |
| | 郡山市介護保険運営協議会 | 委員（副委員長） 第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進行管理および第八次計画策定に向けて審議した |
| | 郡山市地域密着型サービス等運営委員会 | 委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した |
| | 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画進行管理委員会 | 委員（副委員長） 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会『第4次地域福祉活動計画』（2018～2021年度）の進行管理及び各事業の今後の方向性について審議した |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|---|---|
| | 本宮市保健福祉行政推進協議会 | 委員 第5期本宮市障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画（案）について協議した |
| | 社会福祉法人くわの福祉会 | 監事 当法人の業務執行状況について監査を行った |
| | 本宮市地域連携事業 | 本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力 |
| 関 川 悦 雄 | 郡山市教育委員会の教科用図書採択協議会 関東教育学会 | 平成31年度使用教科用図書の採択に関する協議 当学会の理事 |
| 山 本 裕 詞 | 日本学校スクールソーシャルワーク学会 第14回全国大会実行委員会 東北教育学会第76回大会事務局 | 2019年7月に福島大学で開催される予定の当学会全国大会の実施に向けた準備と大会当日の運営を司る実行委員。 2019年3月16日大会における不登校、オルタナティブな教育、インクルーシブ教育関係の自由研究発表会場における司会。 |
| 堀 琴 美 | 福島県立医科大学ハラスメント対策委員会 郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室（郡山市主催） 白河市すこやか相談会（白河市主催） 放送大学福島学習センター 放送大学公開講演会（福島学習センター） | 委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。 講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「DV・虐待の被害者支援」を担当。 相談員 児童の発達に応じた保育および教育への適切な支援を行うための相談会およびフォローアップ事業でスーパーバイザーを担当。 客員准教授 学習相談およびゼミ形式の授業を担当した。 講師 「ネット・ゲーム依存と子どもの発達」というテーマで一般を対象に講演を行った。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|---------------------------------|---|--|
| 阿部 恵利子 | 放送大学面接授業 郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」 | 福島学習センターにて、生活と福祉「豊かな住生活を考える」の面接授業を実施した。(平成30年5月19日・20日) 「地域活性化と住まいづくり―木の魅力を活かして―」をテーマに建築デザインコースの講演を行った。(平成30年7月21日) |
| 廣野 正子 | 本宮市地域連携事業 郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」 福島民友新聞「知の現場」取材協力 福島県社会福祉課主催「ケアフェスふくしま」介護の仕事体験 色輪っかワークショップ 福島民友新聞「高齢者虐待最多435件」の取材協力 | 本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力 「ふだんのくらしのしあわせとアロマテラピー」をテーマに講演を行った。(平成30年7月21日) 福島民友新聞平成30年7月24日号の記事「知の現場」編集に協力した。 介護福祉士養成校として来場者へ介護福祉士のアピールを企画・運営の協力を行った。(平成30年10月8日) 東日本大震災の復興を図るワークショップをいわき市薄磯で開催運営の協力(平成31年1月26日) 福島民友新聞平成31年2月2日号の記事「介護者へのケア重要」編集に協力した。 |
| Daniel O. Horner (ダニエル・ホーナー) | Koriyama's Junior High Schools' English Oratorical Contest Miharu Town's Junior High Schools' English Oratorical Contest Committee University of Wisconsin – Eau Claire Alumni Association | Chief judge of the English speech contest. My duties are to preside over the speech contest and advise the committee on ways to ameliorate it. Chief judge of Miharu Town's English speech contest. My duties are to recruit new judges and advise the students on ways to become better public speakers. Coordination of international exchanges of teachers and students between Fukushima and Wisconsin State, USA. |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|-------------------------------------|--|
| 長 田 城 治 | 日本建築学会東北支部歴史・意匠部会 委員 | 歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。 |
| | 日本建築学会民家小委員会 委員 | 民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。 |
| | 国見町文化財保護審議会 委員 | 国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。 |
| | 国登録有形文化財旧高畠鉄道駅舎等保存活用計画策定準備委員会 監修 | 旧高畠駅舎の保存・活用計画を策定する準備委員会に学識経験者として参加し、保存活用計画の策定および報告書の監修を行った。 |
| | 熱中小学校 社会科教員 | 大人の学び舎である熱中プロジェクトの教員の一人として授業を行った。 |
| | 高畠石の会 顧問 | 「高畠石の会」(山形県高畠町)の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。 |
| | 受託調査事業：旧採進堂酒店に関する国登録有形文化財申請のための建物調査 | 旧採進堂酒店の主屋および土蔵について、各種調査を実施し、建物の歴史的・地域的価値をまとめた所見の執筆を行った。 |
| | 講義：高畠熱中小学校第7期 | 講義「高畠町はどんな町？—古い建物から町の自慢を探してみよう」主催：高畠熱中小学校 |
| | 講義：高岡熱中寺子屋第5期オープンスクール | 講義「地域文化遺産の再発見と新たな価値の創出」主催：高岡熱中寺子屋 |
| | 講演：東海大学山形高等学校総合進学コース | 講演：「大学に進学して」主催：東海大学山形高等学校 |
| | 体験イベント企画・運営：国見お宝再発見 石工フェスin石蔵2018 | 国登録有形文化財に認定された旧小坂村産業組合石蔵を会場とする国見石に関するイベントの企画・運営に携わった。主催：国見町、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 後援：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社 協力：JAふくしま未来、郡山女子大学人間生活学科生活総合コース、福島県瓦工事組合連合会青年部 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|---------------|---------------------------------------|---|
| 近内直美 | 市民協働のまちづくり推進協議会 | 委員 協働のまちづくり推進のための施策について総合的かつ計画的な推進に携わった |
| | 郡山市第1層協議体 | 構成員 地域包括ケアシステムの深化・推進に向け協力した |
| | 郡山市障害者介護給付費など支給審査会 | 委員 障害支援区分の審査判定を行った |
| | 福島刑務支所における「女子施設地域連携事業に係る社会福祉士受刑者相談事業」 | 相談員 再犯防止のためのソーシャルワーク支援 |
| | 福島市地域包括支援センター職員研修会 | 講師 介護予防ケアマネジメントに関わる「課題整理総括表の活用」について |
| | 福島市清明・吉井田地域包括支援センター「ケアマネジメント研修会」 | 講師 アセスメントの意味と方法、アセスメント様式の活用について |
| | 郡山市居宅介護支援事業所連絡協議会研修会 | 講師 事例検討を行うための講義及び、事例検討の実践 |
| | 介護支援専門員研修 | 講師 |
| | 主任介護支援専門員研修 | 主任介護支援専門員の役割と視点 |
| | 主任介護支援専門員更新研修 | 主任介護支援専門員としての実践と振り返りと指導・支援の実践 スーパービジョンとは |
| 専門研修Ⅱ | ケアマネジメントの実践事例の研究 | |
| 実務研修、再研修・更新研修 | チームマネジメント、説明と合意、サービス担当者会議の意義及び実践 | |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|--|---|
| 藤 田 京 子 | 福島県喀痰吸引等基本研修 | 平成30年6月に平成30年度福島県喀痰吸引等基本研修において不特定多数者を対象に講義を行った。 |
| 紺 野 信 弘 | 郡山市あさかの学園大学 日本衛生学会 | 講師・「生涯学習講座」 評議員として会の運営に協力 |
| 西 山 慶 治 | 福島県立医科大学倫理委員会 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構審査委員 第38回人体解剖トレーニングセミナー 福島県立医科大学医学部での人体解剖学の講義と実習指導 仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）で解剖学の講義と実習の指導 福島県立医科大学主催、福島県・白河市共催の「いきいき健康づくりフォーラム in白河」に参画 | 専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間（2020年7月31日まで） 技術等審査委員会委員として研究開発助成事業案に対する審査を実施（2018.7.21） 名古屋大学医学部主催のセミナーで、医療系大学の解剖学教官に人体解剖実習を指導（2018.7.30～8.4） 非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義（1回）と実習（5回）を実施（2018.5.1,22,29、6.5,12） 非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義（12回）を行った（2018.4.16～7.23） 昨年の郡山大会に引き続き、白河でのフォーラムに参加した。郡山女子大学（食物栄養学科）と短期大学部（幼児教育学科）とで展示、キッズルームの運営、健康弁当の提供などで協力。 |
| 楯 野 信 子 | 第62回農業実験実習講習会 *教員免許状更新講習会 秋の大試飲会 | 講師：公益財団法人全国高等学校農場協会主催の講習会（東北地区・食品化学）において、「食品の表示について」を講義した（於、郡山女子大学）。 福島県南酒販株式会社主催。主催者とのコラボ企画で、郡山女子大学ブース「お酒と共に味わえる缶詰レシピのご提案」を展覧した（於、ホテルハマツ）。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-------|--|--|
| | アサヒビール園メニュー共同開発（第8弾） | ビール園にて提供するメニューとして、成人女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。 |
| 関口 晋 | 日本私立短期大学協会 運営問題委員会 公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会 | 私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究 地域社会の発展と潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とし、民間非営利部門の活動の健全な発展を推進するとともに、それまでに公益法人制度に見られる様々な問題に対応する。 |
| 菊池 節子 | 福島県県中農林事務所 「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」 調査研究委員会 福島県きのこ料理コンクール 平成30年市民学校「身体のこと、勉強すっぺ〜きっかけは公民館から〜」 学校法人石川義塾中学校食育講演会 | 普及指導協力委員 福島県県中農林事務所所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。 調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。 審査委員 第3回福島県きのこ料理コンクールに係る一次審査ならびに本審査において、審査員を務めた。（平成30年10月31日・11月23日） 講師 郡山市市民学校受講生を対象に、減塩に関する講話と調理実習を通して、健康的な食生活を送るための理論と実践について紹介した。（平成30年5月10日・5月31日） 講師 中学生の保護者を対象に、栄養バランスと安全性の観点から、手作りお弁当作成の際のポイント等について紹介した。（平成30年7月9日） |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|-----|---|---|
| | 平成30年度KGCサマリーフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会) | 選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、「卵の調理特性－実験と実習」のテーマで、卵の調理特性とその特性を用いた調理法について、講義と実習を通して紹介した。(平成30年8月1日) |
| | 平成30年度第62回農業実験実習講習会(教員免許更新講習会) | 講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、「和食、日本の伝統的な食文化」のテーマで福島県の郷土料理を題材に実験実習を行い、伝統的な食文化のメリット等について紹介した。(平成30年8月2日) |
| | 一般社団法人栄養改善普及会主催 平成30年度 食品と栄養のミニ移動教室 『元気のみなもと小麦粉パワー』 | 講師 栄養三色と小麦粉の正しい知識を学び、調理実習を通し、食生活をより豊かなものにするために、大学生、一般消費者を対象に開催した。(平成30年11月11日) |
| | 郡山市桃見台地域公民館主催事業 「トライキッズスクール」 | 講師 小学生を対象に、「クリスマスクッキー作り」の体験活動を通し、心身共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。(平成30年12月22日) |
| | 平成30年度第15回郡山女子大学市民フォーラム | 講師 市民を対象に、「野菜を活用した調理科学的視野での食品開発」のテーマで、福島県の健康課題、デザイナーフーズ、野菜の機能性を取り上げ、調理科学的視野での食品開発の提案を行った。(平成31年2月9日) |
| | JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」 | 郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。 |
| | いきいき健康づくりフォーラム企画弁当 | 県立医大健康増進センター主催フォーラムでの、郡山女子大学食物栄養学科考案「健康弁当」販売にむけて、(株)山際食彩工房との共同開発に携わった。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-------|---|--|
| | いきいき健康づくりフォーラムin白河 | 県立医大健康増進センター主催フォーラムにおいて、糖尿病予防についての展示を行った。 |
| | 「新酒まつり」(ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2019 実行委員会主催) | ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2019 実行委員会主催の新酒まつりにおいて、郡山女子大学学生考案の推奨おつまみのサイドメニュー提供に協力した。 |
| | 日本家政学会 食文化研究部会 | 東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。 |
| | 日本調理科学会 東北・北海道支部 | 地区委員として会の運営に携わっている。 |
| | 公益社団法人 日本栄養士会 | 代議員として会の運営に携わっている。 |
| | 第4回日本栄養改善学会東北支部学術総会 | 実行委員会委員として、学会運営企画等に携わった。 |
| | 平成30年度 福島県栄養士会研究教育協議会 北海道・東北ブロック合同研修会 | 実行委員会委員として、研修会運営企画等に携わった。 |
| 岡部 聡子 | 附属高校生対象「食生活だより」配布 | 望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、6月に配布した。 |
| | 福島の進路：精神科における食行動評価尺度の作成に向けて～栄養教育における行動科学理論の活用～ | 精神科における食行動評価尺度の作成に向けての研究内容について、一般市民に理解してもらえるように、平易な表現で活動内容を紹介した。福島の進路2018.6,p34-37 |
| | 郡山市総合地方卸市場運営協議会委員 | 協議会委員として年数回行われる会議に参加した。 |
| | 健康づくり提唱のつどい運営委員2018.09.08 | 会場：ビッグパレットふくしま 開催当日、運営委員として運営に携わった。 |
| | 精神科栄養士会総会講演 2018.09.25 「精神科栄養士会プロデューサー、タイプ別栄養指導マニュアルの作成について」 | 福島県精神科栄養士会で精神科患者に対する栄養指導マニュアルの作成について、今までの研究成果とこれからの計画について講演を行った。 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|--|--|
| | 安積幼稚園PTA主催教育講演 2018.11.20 「子どもに作ってあげたいお弁当とおやつ」 | 幼稚園の保護者を対象として、幼児期の栄養を考慮したお弁当とおやつ作りについて講習会を行った。 |
| | 本宮市主催子育てセミナー 2019.03.20 「赤ちゃんの食事と栄養の基本について～アレルギー予防のための離乳の進め方・実践法」 | これから出産を控えた妊婦から小児の保護者を対象とした離乳の基本の講話を行った。 |
| 亀 田 明 美 | 平成30年度つながる食育推進委員会 | 委員：福島県教育委員会主催の、つながる食育推進事業に、委員として携わった。 |
| | 三春町立三春中学校・つながる食育推進事業推進委員会 | 委員：文部科学省平成30年度つながる食育推進事業の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わり、生徒の栄養摂取量調査・料理教室等に協力した。 |
| | 郡山市中学校給食会運営委員会 | 委員：郡山市中学校給食会運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。 |
| | 県中圏域子どもの食を考えるネットワーク会議 | 委員：福島県県中保健福祉事務所主催、県中圏域子どもの食を考えるネットワーク会議に委員として携わり、子どもの食育に関する取組について協議を行った。 |
| | 福島県教育委員会「家庭教育応援プロジェクト」親子の学び応援講座 | 講師：福島県教育委員会主催「家庭教育応援プロジェクト」事業、連合PTA による家庭教育に関する研修会において、子どもの頃からの食育の重要性について講演を行った。(11月2日：白河市) |
| | 三春町立三春中学校・つながる食育推進事業研究公開における食育講演会 | 講師：文部科学省平成30年度つながる食育推進事業の指定を受けた、三春町立三春中学校の研究公開において、県内の教員や保護者を対象に「今と未来がつながる食育」の題で講演を行なった。(12月14日：三春中学校) |
| | 健康教育に係る専門家派遣事業 | 講師：福島県教育委員会主催「健康教育に係る専門家派遣授業」の講師として、白河市表郷中学校において食育講演会の講師を務めた。(1月24日：白河市立表郷中学校) |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|--|---|
| | ふくしま有機農業ネットワーク「学校給食を通じた食育のまちづくり」シンポジウム | 講師：ふくしま有機農業ネットワーク主催「学校給食を通じた食育のまちづくり」シンポジウムにおいて、講演およびコーディネーターを務めた。(10月20日：本宮市白沢公民館) |
| | 福豆屋学校給食調理員研修会 | 講師：郡山市内の小学校給食調理業務受託会社の学校給食調理員研修会において、学校給食の調理のポイントと衛生管理について講演を行った。(8月21日：郡山市福豆屋) |
| | 福島リビング新聞社「小学生新聞でとて」 | 取材協力：地域・学校・家庭が、手と手をつないで、食育を推進していくための具体的な方策をまとめた記事の取材に協力した。(2019年2月号) |
| 影山志保 | 受託研究「氷感庫を用いた農産物の熟成に関する研究」 | (株)氷感との共同研究で、食材の保存と熟成をコントロールする要件と食品の化学分析値を測定している。(平成30年4月1日から現在に至る) |
| | 水未来基金水環境保全活動事業「猪苗代湖裏磐梯湖沼地域の水質調査と生息生物観察会」 | 福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域研究予算を用い、裏磐梯の水質調査と生息生物観察会を実施した。(平成30年4月1日から現在に至る) |
| | 平成30年度 農業実験実習講習会 | 農業教員免許状更新講習の1部を担当し、食品の放射性物質の現状・分析という内容で講習会を実施した。(平成30年7月31日) |
| | ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2018出展 | 郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表した。(平成30年11月7・8日) |
| | 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター 客員研究員 | 国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当した。(平成30年4月1日から現在に至る) |
| | 社団法人日本家政学会東北支部監事 | 日本家政学会東北支部会の運営等を担当している。(平成30年4月1日から現在に至る) |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|---|---|
| | 平成30年度中学生・高校生の科学・技術研究論文 野口英世賞審査会審査委員 | 福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 (平成30年10月18日福島県教育委員会) |
| | 平成30年度放送大学面接授業 [教養学部] | 福島県の放射能汚染の現状という内容で講義・実習を実施した。 (平成30年12月15・16日) |
| 佐 藤 浩 明 | 平成30年4月～平成31年3月 2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等 郡山市推進アドバイザー | 大会関連事業に係わる指導、人材育成及び助言。トップアスリートの養成のアドバイス |
| 黒 澤 廣 子 | 福島県糖尿病療養指導士会 一般社団法人WAVES japan 福島県農林水産部長 福島県立医科大学主催、福島県・白河市共催の「いきいき健康づくりフォーラムin白河」に参画 「いきいき健康づくりフォーラムin白河」企画弁当 | 平成30年6月24日 第11回福島県糖尿病療養指導士会講習会講師 平成30年10月27日 低栄養予防イベント「元気に食べてますか？」スタッフとして参加 平成31年1月16日 平成30年度天のつぶ生産者コンクール最終審査会に審査員として出席 平成31年2月24日 郡山女子大学（食物栄養学科）として展示、運営に携わった 平成31年2月24日 郡山女子大学食物栄養学科考案「健康弁当」販売に向けて、(株)山際食彩工房との共同開発に携わった |
| 高 橋 徹 | World Congress of Clinical Nutrition 事務局長 International College of Nutrition, Life-time fellows Open Journal of Nutraceutical, 副編集長 World Congress of Clinical Nutrition | 2年間事務局長を務めた。本年はインドの学会にて事務局長の引き継ぎ、座長、事務局長スピーチを行った。 副編集長として雑誌の編集に関わった。 World Congress of Clinical NutritionにてS.S.Rastogi memorial賞を受賞した。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|--|
| | 消費者庁会議 | 食品物性の規格についての会議に出席した。 |
| 郡司 尚子 | 第62回農業実験実習講習会 (教員免許状更新講習会) | 講師 「エゴマの成分と利用」について講義、ならびに、「エゴマ油を含む食用油脂の加熱劣化並びに脂肪酸組成の分析」の実験の講師を務める。 (2018年8月1日) |
| | 葛尾村地域復興支援 | 第3回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。葛尾村で栽培したエゴマ(じゅうねん)を利用して考案した商品を調理し、模擬店で販売した。 (2018年8月14日) 葛尾感謝祭の運営に協力した。葛尾村で栽培したエゴマ(じゅうねん)を利用して考案した商品を調理し、来場者へ試食していただいた。 (2018年11月3日) |
| | 「かつらお☆あぐり名物体験ツアー」 | (公財)星総合病院主催の「かつらお☆あぐり名物体験ツアー」に協力し、葛尾村にて、エゴマの話し、大学農場での農作業、名物料理の調理、そばの種まきなどを実施した。(2018年8月4日) |
| | NHK「うまいっ！」 知ってる？最強食材エゴマ(福島・田村市)出演 | 福島県産エゴマを栄養から栽培まで、様々な魅力を伝える番組にコメンテーターとして出演し、エゴマの良さや、葛尾村での本学の活動の様子などについて紹介した。(2018年11月18日) |
| | 福島県農業総合センター農業短期大学校 第2回大学連携会議 | 非常勤講師として「食品製造」を担当した。 葛尾村と協定を締結している3大学(日大工学部・東北大学大学院農学研究科・郡山開成学園)の今年度の活動報告を次年度計画案について、報告及び意見交換を行った。(2009年3月14日) |
| 長谷川 貴弘 | 平成30年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会)「経済と家庭経営」 | 選択領域家庭科講師： 教員免許状講習会受講生を対象に、ライフステージの変化に伴って、家庭経営と経済の状況にどのような変化が現れるかについて紹介した。 |
| | 郡山看護専門学校 | 非常勤講師：「家族社会学」を担当。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|---------|------------------------------|---|
| 星 千 歳 | 大学出前講座 | 講師：白河市教育委員会主催。「生活習慣病を予防する食生活の秘訣」のテーマで講演を行った。(平成30年8月19日) |
| | 大学出前講座 | 講師：白河市教育委員会主催。「腸活・骨活で健康寿命を延ばそう」のテーマで講演を行った。(平成30年8月26日) |
| | こまちふれあいフェスタ | 小野町主催のフェスタにおいて、塩麴肉まんの試食提供を行った。(平成30年10月28日) |
| | チャレンジふくしま県民運動フェスタ2018 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「減塩&野菜を食べよう大作戦」のテーマで出展し、ヘモグロビン濃度測定と握力測定を行い、栄養診断と食品に含まれる塩分量の展示も行って減塩と野菜摂取の必要性を啓蒙した。(平成30年12月15・16日) |
| | 平成30年度過疎・中山間地域振興事業 | 講師：県中保健福祉事務所主催。小学4,5,6年生とその親子を対象に、栄養士の仕事についての説明会及び冬野菜を利用した調理実習を実施した。(平成30年12月22日) |
| | 郡山市健康づくり推進懇談会 | 委員：郡山市主催。懇談会に出席し、健康づくりのための計画を効果的に進めるための協議を行った。(平成31年2月18日) |
| | チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR業務 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会の委託事業として、企業の社員食堂で提供できるヘルシーメニューを開発し、社員食堂で一定期間メニューの提供を行い、アンケートを実施しその結果を集計した。(平成30年11月1日～平成31年3月15日) |
| 伊 藤 央 奈 | チャレンジふくしま県民健康フェスタ2018 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「減塩&野菜を食べよう大作戦」をテーマに出展。2018年12月15日～16日 |
| | チャレンジふくしま県民運動推進協議会 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。市内の社員食堂にヘルシーメニューを提供し、生活習慣病予防の啓発に携わった。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-------|---|--|
| | いきいき健康づくりフォーラムin白河 | 福島県立医科大学健康増進センター主催。「糖尿病予防の食生活」をテーマとして展示発表した。 |
| 善方美千子 | 特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会 | 理事：福島県における生涯スポーツの普及や、子どもの体力向上を目指し、事業内容の推進と、学生の参画について協力。(任期2018.7.1-2020.6.30) |
| | 平成30年度 過疎・中山間地域振興事業 「栄養士しごと体験学習」 | 講師：県中保健福祉事務所の主催事業であり、小学4,5,6年生とその親子を対象に、栄養士の仕事についての説明会および冬野菜を利用した調理実習を実施。(2018.12.22 郡山女子大学) |
| | 平成30年度「大学と国立那須甲子青少年自然の家との連携促進会議」 | 独立行政法人国立青少年機教育振興機構に関わる教育ボランティア活動において、自然の家と大学の連携協議会に出席、および学生の参画に協力。(2019.1.9 国立那須甲子青少年自然の家) |
| 本間杏菜 | 健康づくり提唱のつどい運営委員 | 9月8日(土) 会場：ビッグパレットふくしま 開催当日、運営委員として運営に携わった。 |
| 根本絢香 | 秋の大試飲会 | 福島県南酒販株式会社主催。主催者とのコラボ企画で、郡山女子大学ブース「お酒と共に味わえる缶詰レシピのご提案」を出展した。 (平成30年10月10日(水) ホテルハマツ) |
| | チャレンジふくしま県民運動フェスタ2018 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「減塩&野菜を食べよう大作戦」をテーマに出展した。(平成30年12月15日(土)~16日(日)) |
| | 福島県立医科大学主催、福島県・白河市共催の 「いきいき健康づくりフォーラムin白河」 | 郡山女子大学(食物栄養学科)と短期大学部(幼児教育学科)とで展示、キッズルームの運営、健康弁当の提供などで協力。 |
| 齋藤美保子 | 福島県文化振興事業団評議委員会 | 委員として事業団の運営を評議すると共に、同事業団の広報活動の学内窓口となった。 |
| | 福島県立美術館運営協議会 | 委員として美術館の運営を協議すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|---------------------------------|---|
| | 郡山市美術品収集評価選定委員会 | 委員として郡山市立美術館の作品収蔵を協議すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。 |
| | 「スモールスタート支援事業」選考委員会 | 選考委員として公募案件の審査に当たり、こおりやま広域圏のプロジェクトから12件を採択した。また、成果報告会に参加した。 |
| | わくわく子ども大学実行委員会 | 平成30年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した「第3回子ども大学」において、副委員長として企画運営に当たった。 |
| | 服飾美学会委員会 | 委員として学会運営と企画を協議し、諸活動を盛り上げるよう助力した。 |
| 知野 愛 | 本宮市総合計画審議会 | 委員・本宮市第二次総合計画策定の審議に参加し家庭支援論の立場から発言した。 |
| | 株式会社テレビユー福島番組審議会 | 審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組の合評に参加し、家庭支援論の立場から発言した。 |
| | こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議 | 会員・郡山市における女性活躍推進のため、講演を聴きグループに分かれて討議した。 |
| | 郡山市役所 自主研究グループ 読み書き語りの会 | 講師・保育士のリカレント教育勉強会で「文章の読み方・まとめ方」の講義、受講者発表に対する講評を行った（10月10日（水））。 |
| | 福島民報「民報サロン」 | 民報サロン第137期執筆者（2019年1月5日～4月30日迄）、5回掲載。 「学びが拓く地域の未来」他 |
| 山口 猛 | 福島県教育委員会 | 「情報モラル教育の指導力向上について」の講師を担当した。 |
| | 平成30年度不登校・いじめ等対策推進事業（域別研修会・協議会） | 8/1 下郷ふれあいセンター |
| | わくわく子ども大学 | 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、委員会、講師を務めた。8/4 郡山女子大学 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|---|
| 阿部優子 | わくわく子ども大学 体験ブース講師 | 平成30年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「タブレットであそぼ♪将来の夢を作品に! わくわくドリームマップ作成」の講師を務めた。 |
| 坂上 茂 | わくわく子ども大学 体験ブース講師 | 2018年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学、体験ブース「シー・モンスターをさがせ」の講師を務めた。 |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 | 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の講師を務めた。2018年11月17日(土) |
| 會田 久仁子 | 郡山警察署協議会 | 警察法により警察署には警察協議会が置かれる。管轄区域内における警察の事務の処理に関し警察署長に対し意見を述べる機関である。平成30年度は協議会会長を務め、年に4回開催する会議を招集した。 |
| | ラジオ福島番組制作協力 | 月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開! 朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。平成30年5月4回分および11月4回分担当 |
| | リビング郡山紙「発酵食品のヒミツ」編集協力 | 福島リビング新聞社発行 リビング郡山・リビング福島1628号8月4日号の巻頭特集記事編集に協力した。 |
| | わくわく子ども大学 体験ブース講師 | 平成30年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「シーモンスターをさがせ!」の講師を務めた。 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 第3回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。本学科で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。平成30年8月14日 |
| | 福島県相双農林事務所主催「相双地区のお米を使った“お手軽簡単! お米のレシピ”料理コンテスト」審査員 | 福島県相双農林事務所が主催したお米のレシピ料理コンテストの審査員を務めた。 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|---|--|
| | 郡山市簡易水道料金審議会委員 | 郡山市長より委嘱され平成30年11月から委員会に出席して郡山市簡易水道の料金の適正について審議し、2019年10月上旬に答申する予定である。 |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 | 日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。平成30年11月17日（土） |
| | 親子クッキング教室「「Happy♥Dining福ふくごは ん〜おだしの学校〜」“和食でクリスマス”」 | （公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。平成30年12月15日（土） |
| 水 野 時 子 | 「スポーツと栄養」講師 | 5月26日 会場：エルマールガーデン 健食学レストラン「エルマール」で開催された「健康学ランチョンセミナー」において講師を務めた。 |
| | 「栄養についてのお話」講師 | 11月23日 会場：郡山市中央公民館 特定非営利活動法人子育て支援コミュニティ プチママン主催事業において、保護者向け「栄養についてお話」の講師を務めた。 |
| | 「スポーツ栄養学」講師 | 12月8日 会場：福島医療専門学校 専門学校生を対象に、栄養学の基礎知識・スポーツ栄養学についての講師を務めた。 |
| | 公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員 | 運営委員長として運営に携わった。 |
| | 第4回日本栄養改善学会東北支部学術会議実行委員会委員 | 平成30年6月23日（土）開催の第4回日本栄養改善学会東北支部学術総会開催の運営に携わった。 |
| | 公益社団法人 福島県栄養士会理事 | 福島県栄養士会理事として栄養士会の運営に携わった。 |
| | 「健康づくり提唱のつどい」運営委員 | 9月8日（土） 会場：ビッグパレットふくしま 開催当日、運営委員として運営に携わった。 |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 講師 | 平成30年11月17日（土） 会場：郡山女子大学 日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催で開催した親子料理教室の講師を務めた。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|-----------------------------|---|
| | 附属高校生対象「食生活だより」配布 | 望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、6月に配布した。 |
| 小林澄枝 | 葛尾村地域資源の発掘と応用支援 凍み餅の商品開発 | 凍み餅を使って「ふりかけ」「おやき」「パイ」「もちグラタン」などの調理工夫を試みた。 2016年11月10日～現在に至る。 |
| | 一般向け栄養講演会 | (株)エヌジェイアイ主催の講演会が三春町にあるカフェ「エルマール・ガーデン」において開催され30名を対象に病気と栄養について講演を行った。 2018年7月28日 |
| | 公益社団法人 日本栄養士連盟福島県支部 | 第6回日本栄養士連盟福島県支部総会において議長を務めた。 2018年6月30日：郡山市労働福祉会館 |
| | わくわくこども大学 | 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。2018年8月4日（土）会場：郡山女子大学 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 第3回葛尾村盆踊り模擬店運営に協力した。本学科のサークルが考案した凍み餅を利用した賞品を調理し、模擬店で販売した。 2018年8月14日 |
| | うすい百貨店レストラン・健康栄養学科コラボお弁当の販売 | うすい百貨店地下の食品売場において、学生が考えたお弁当メニューの販売を行い2日間で100個販売した。また、凍み餅を使った「凍みパイナップルパイ」を100個試食用に配布し、凍み餅の普及に努めた。さらに、「エルマールプラス」では、「地産地消～ステーキと共に～私が主役サラダプレー」を3日間で150食提供した。 2018年10月26日～28日 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|-----|--|--|
| | 葛尾村感謝祭 | 凍み餅のアレンジ料理「凍みパイナップルパイ」と「凍みふりかけ」 （味はチーズ味・辛味・かつお味の3種）を試食用として各100食ずつ用意し試食した人達からアンケート調査に協力していただき集計を行った。 2018年11月3日 |
| | 「海と日本プロジェクト」さばける塾 in ふくしま （福島中央テレビ連携） | 地域の親子10組を対象に学生12名の協力で魚のさばき方教室を開催し、企画実施準備に携わった。 |
| | 放送大学福島学習センター面接授業 「わかりやすい臨床栄養学」 | 講師：様々な疾病と栄養や食事との関係を予防、治療、増悪防止に活用できるように分かり易く解説した。2018年11月24日・25日 |
| | 生涯教育講座学術講演会 幸せになる糖尿病治療を目指して | 講演会開催のために企画、準備、運営に携わる世話人役を務めた。 2018年12月1日（土）：福島テルサ |
| | 公開講座 親子料理教室（第5回） 「Happy♥Dining福ふくごはん ～おだしの学校～」 | 公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会の共催で、親子料理教室を開催し講師を務めた。今回のテーマは、おだしの学校と題して、親子8組を招待し、ボランティア学生14名と共に楽しい時を共有した。 2018年12月15日 |
| | 福島民友新聞掲載 「調理工夫し大変身・新たな魅力が誕生」 | 葛尾村特産物の凍み餅を使った商品開発の内容が紹介された。現在に至る迄の取り組みの状況やお弁当サークルのメンバーのコメントなどが掲載された。 2019年1月7日 |
| | CAFÉ ルークコラボレーション カフェメニューの開発 | ホテルルークサイド観光を経営する(株)国土観光からカフェメニュー開発の依頼を受け、お弁当サークルメンバーが考案した10品の試食会を実施した。 2019年1月24日 |
| | 福島テレビ 受験生応援レシピ サタふく放送 | 受験日前日夕食・受験日当日朝食メニューの提案について取材を受けた。 2019年2月16日放送 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|---|
| | うめつLS内科クリニック（福島市） | 糖尿病専門クリニックにおいて栄養カウンセラーを担当した。 （毎月1回～2回） |
| | 福島県立総合衛生学院（福島市） | 看護学科 非常勤講師「臨床栄養学総論・栄養学」を担当した。 |
| | ポラリス保健看護学院 | 非常勤講師「栄養代謝学」を担当した。 |
| | 内閣府 食品安全モニター | 食品安全モニターを担当した。 |
| | 葛尾村宿泊施設せせらぎ荘試験的食事提供 | 「せせらぎ荘」の厨房設備（休業中）を利用した昼食お弁当販売会を実施した。お弁当サークル10名が参加し、50食を提供販売した。 2019年3月14日 |
| 金子 依里香 | 郡山市消費生活審議会委員 | 委員：この審議会は市長が消費者保護上必要と認めた場合、市長の諮問を受け、調査や審議、被害救済のためのあっせん・調停を行うものである。審議会における会長代理を務める。 |
| | わくわく子ども大学実行委員会（副運営委員長） | 郡山女子大学を会場とし、夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。副運営委員長として企画運営にあたった。 （2018年8月6日） |
| | 葛尾村地域復興支援 | 第3回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。葛尾村の凍み餅を利用して考案した商品を模擬店で販売した。（2018年8月14日） 葛尾感謝祭の運営に協力した。葛尾村の凍み餅を利用して考案した商品を、来場者に試食していただいた。（2018年11月3日） |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 | 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。（2018年11月17日） |
| | 親子クッキング教室「Happy♥Dining福ふくご飯～おだしの学校～“和食でクリスマス”」 | （公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。（2018年12月15日） |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|---|--|
| | 第2回大学連携会議 | 葛尾村と協定を締結している3大学（日大工学部・東北大学大学院農学 研究科・郡山開成学園）の今年度の活動および次年度計画案について、 報告および意見交換を行った。 |
| 澤 渡 優 喜 | リビング郡山「発酵食品のヒミツ」編集協力 | リビング郡山 1628号 2018年8月4日の記事「発酵食品のヒミツ」編集 に協力した。 |
| | わくわく子ども大学実行委員会 実行委員及び体験 ブース講師 | 2018年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行 委員会では実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブー ス「けんぴきょうでマイクロワールドをのぞいてみよう!!!」の講師を 務めた。 |
| | 「Happy♥Dining福ふくごはん～おだしの学校～」 “和食でクリスマス” | （公社）日本フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け 公開講座の運営に参加した。2018年12月15日（土） |
| 鈴 木 奈津子 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 2018年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日 は、運営スタッフを務めた。 |
| | うすい百貨店とのコラボお弁当の提供 | うすい百貨店で販売された「ヘルシー女子和膳弁当」の調理に携わった。 2018年10月27日（土）・28日（日） |
| | 父と子の料理教室「Happy Dining 福ふくごはん～ おだしの学校～」”和食でクリスマス“ | 2018年12月15日（土） 会場：郡山女子大学 （公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開 講座の運営に参加した。 |
| 加 藤 雅 子 | 福島中央テレビ ゴジてれChu！ 「食中毒予防」 | 情報番組内において、「食中毒予防」と題して、手洗いや衛生的な食品 の取扱いのポイントなどを紹介。（平成30年5月11日放送） |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|--|
| | わくわく子ども大学 体験ブース講師 | 平成30年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「けんびきょうでマイクロワールドをのぞいてみよう!!!」の講師を務めた。 |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 | 平成30年11月17日(土) 会場: 郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。 |
| 八木橋 由佳 | 葛尾村地域復興支援 | 第3回葛尾村盆祭りの模擬店運営に協力した。本学科で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。2018年8月14日 |
| | わくわく子ども大学 | 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は運営補助を行った。 |
| | うすい百貨店とのお弁当商品開発 | 平成30年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学 うすい百貨店とのコラボレーションで、学生(お弁当サークル)が考えたお弁当メニューの商品化を試みた。当日は調理補助として協力した。 平成30年10月27日(土)・28日(日) |
| | 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」 | 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室。当日は調理補助等を行った。 平成30年11月17日(土) 会場: 郡山女子大学 |
| | 公開講座 親子料理教室 「Happy♥Dining 福ふくごはん ～おだしの学校～和食でクリスマス」 | (公社)日本フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座。当日はフードスペシャリストとしてプレゼンテーションを行った。平成30年12月15日(土) 会場: 郡山女子大学 |
| 三瓶 令子 | 全国大学音楽教育学会 | 全国副理事長 学会運営と諸議題についての検討 |
| | 全国大学音楽教育学会・東北地区学会 | 東北地区顧問 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討と補佐 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|---------|--------------------------------|--|
| | 社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック | 東北ブロック理事・監事 東北ブロックの運営と、監事監査 |
| | 社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験採点委員 | 国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）試験官として採点を行った。(2018,7,1 12,9) |
| | 郡山市地方社会福祉審議会委員 | 児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。年に数回開催。 |
| | 教員免許状更新講習（サマーリフレッシュ）講師 | 平成30年8月1日（水） 会場：郡山女子大学 「音楽で育つ子どもの世界」のテーマで、講師を務めた。 |
| | 福島県保育人材対策連絡会 | 福島県対策委員 福島県こども未来局子育て支援課が立ち上げた同連絡会の委員として、対策委員会への出席（年4回）、及び「福島県保育士養成校進学ガイドブック」の制作協力、「保育士フェア」の企画・開催等に協力した。 |
| | 福島県市町村教育委員会連絡協議会 安達支会研修会 講師 | 平成31年1月23日（水） 午後4時～ 会場：本宮市中央公民館 「子育てにおける社会の動向」のテーマで、講師を務めた。 |
| 富士盛 公 年 | 平成30年度サマーリフレッシュプログラム | 「教育相談」（小中高教諭課程）「保育相談支援」（幼稚園教諭課程） |
| 一 柳 智 子 | わくわく子ども大学講師 | 平成30年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「頭脳型運動ゲーム『君はあやしい女子大生から逃げられるか』」の講師を務めた。 |
| | 民族藝術学会 理事 | 民族藝術学会東京事務所の年3回の理事会に出席し、定例研究会の企画運営を行った。さらに投稿論文の査読委員を務めた。 |
| | 比較舞踊学会 理事 | 比較舞踊学会誌『比較舞踊研究』の編集委員及び投稿論文の査読委員を務めた。 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|-------|--|---|
| | 白河市文化財保護審議会委員 | 白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動を行った。審議内容は白河市内の有形文化財、無形文化財の両文化財の視察及び審議を行った。 |
| | 郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員 | 郡山市教育委員会の基本施策に基づき所掌する事業の執行状況について、報告を受け、さらに報告内容の点検及び評価をした。 |
| 小 林 徹 | (委員等) 郡山市教育支援委員会委員 | 郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいや有する児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。 |
| | 三春町子ども・子育て支援会議委員（会長） | 「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。 |
| | 福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事 (研修会講師等) | 肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として参加した。 |
| | 平成30年度第7回福島県学童クラブ研究集会 全体講演 講師 | 平成30年5月27日（日） 会場：郡山市民文化センター 講演「障害児とともに育ちあうための生活づくり」 |
| | 平成30年度KGCサマーリフレッシュプログラム | 平成30年7月28日（土）29日（日） 会場：郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」ほか |
| | 平成30年度全日本私立幼稚園幼児教育研究機構免許状更新講習、福島県私立幼稚園連合会10年経験者教員研修会 | 平成30年7月31日（火） 会場：清稜山倶楽部 講演「幼稚園をめぐる教育の最新事情 子どもの発達と新たな課題」 |
| | 平成30年度三春町特別支援教育セミナー講師 | 平成30年8月1日（水） 会場：三春町交流館「まほら」 講演「発達障害のある子どもの教育を推進・充実させるために」 |
| | 平成30年度 大島管区特別支援学級担当教員研修 講師 | 平成30年8月30日（木） 会場：東京都教職員研修センター 講義「自立活動の視点を取り入れた自己肯定感を高める授業づくり」 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|-------|-------------------------------------|--|
| | 平成30年度 おおたま学園オープンスクール講師 | 平成30年9月7日(金) 会場:大玉村立大玉中学校 特別支援教育分科会における研究授業の指導助言 |
| | 平成30年度 第3回保育の学校 講師 | 平成30年10月20日(土) 会場:八戸学院大学短期大学部 講演「ライフステージを見通した障害児の保育・教育-保育者の育ちと実践の進化」 |
| | 平成30年度 福島県放課後児童支援員認定資格研修会(南会津会場) | 平成30年10月29日(月)11月4日(日) 会場:御蔵入交流館 講演「障がいのある子どもの理解」「障がいのある子どもの育成支援」 他 |
| | 平成30年度 大島町特別支援教育部 実践事例研修会 講師 | 平成30年12月14日(金) 会場:大島町立つばき小学校 講演「通常の学級における支援を要する児童生徒への気づきについて」 |
| | 平成30年度 福島県放課後児童支援員認定資格研修会(いわき会場) | 平成31年2月23日(土) 会場:いわき短期大学 講演「障がいのある子どもの理解」「障がいのある子どもの育成支援」 |
| | 第35回(平成30年度)芳山教育研究発表会 | 平成31年1月25日(金) 会場:郡山市立芳山小学校 知的障がい学級および情緒障がい学級における研究授業の指導助言 |
| 早 川 仁 | 平成30年度サマーリフレッシュプログラム (教員免許更新講習) | 「創作イメージと描画表現力を育む」講師 平成30年8月1日(水) |
| | 県南美術協会 | 福島県県南地区の美術振興活動(作品審査・展覧会運営など) |
| | 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 | 平成30年9月25日(火)福島県私立幼稚園・認定こども園連合会就職セミナーを実施するに当たり本学会場における会の進行等について企画検討した。 |
| | 平成30年度全国保育士養成校 東北ブロックセミナー福島県大会実行委員会 | 平成30年11月24日(土)・25日(日)本学を会場校として全国保育士養成校東北ブロックセミナー福島県大会を実施。 実行委員会4月21日・7月22日等(数回に亘り予算・各校役割分担などについて検討) |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|--|--|
| 草野葉子 | アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員 郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会研修会 第3回わくわく子ども大学 体験ブース講師 | 福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する事業の推進。 平成30年度郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会教員研修会第2回全体研修会における、「木工製作」研修の講師。 平成30年8月4日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「ビニール傘変身大作戦“世界にひとつだけの傘”」の講師を務めた。 |
| 山上裕子 | 教員免許状更新講習 講師 | 「子どもの成長と体験」を講義した |
| 折笠国康 | 福島県保育協議会県南支部 平成30年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許更新講習） 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 平成30年度わくわくこども大学 最上地区小・中学校教育研究会連絡協議会 | 福島県保育協議会県南支部保育研究大会 講師 子どもが育ち、保育士が育つ施設 ～心理学の視点から言えること～ 平成30年4月18日 郡山市中央公民館 「教員としての子ども観、教育観等についての省察」 講師 平成30年7月28日 郡山女子大学 H30年度免許状更新講習 講師 少子化の中の家庭支援・地域連携 平成30年7月30日 清稜山倶楽部 保護者向け講演会 講師 子どもの自尊感情の育成 平成30年8月4日 郡山女子大学小ホール 教育研究会連絡協議会 講師 児童生徒の自立や自己決定を促す養護教諭のかかわり方、指導の仕方 平成30年10月9日 最上広域教育研究センター |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|--------------------|---|
| | 福島県子ども未来局 | H30年度福島県放課後児童支援員認定資格研修 講師 子どもの発達理解 平成30年12月14日 郡山市労働福祉会館 |
| | 郡山女子大学付属幼稚園 | 保護者向け子育て講演会 講師 自尊感情の育成 平成31年1月28日 郡山女子大学付属幼稚園 |
| | 大越こども園 | 家庭教育学級 講師 より良い子育てとは 平成31年2月22日 田村市大越こども園 |
| 永 瀬 悦 子 | 矢吹町教育委員会 | 矢吹町子ども・子育て会議で学識経験者として委員（副会長）を務めた。 |
| | 福島県子ども未来局 | 福島県子ども未来局子育て支援課主催の「平成30年度福島県放課後児童支援員の認定資格研修会」の講師を務めた。 |
| | 三春町 子育て支援課 | 子どもの豊かなこころの育成を目的として実施している三春町子育て支援課主催の事業「思春期保健講座」の講師を務めた。 |
| | 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 | 平成30年度新任教員研修会において、幼稚園教諭・保育教諭を対象とした講義の講師を務めた。テーマは「乳幼児の保育における発育・発達の見方と疾病 ～0～3歳児を中心に～」である。会場：星稜山倶楽部。 |
| | 平成30年度教員免許更新講習会 | 平成30年度教員免許更新講習において幼稚園教諭を対象とした講義の講師を務めた。テーマは「安全管理と応急処置」である。 |
| | 福島県立光南高等学校 | 家庭科系列保育系講演会において、科目「子どもの発達と保育」の受講者を対象とした講演会の講師を務めた。テーマは「人格形成の基礎を培う乳児期の保育～愛情のある応答的関わりの大切さ～」である。 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------------------------|---|---|
| 伊 藤 哲 章 | わくわく子ども大学実行委員会（運営委員長）及び 体験ブース講師 | 平成30年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行 委員会では、運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験 ブース「たのしいりかじっけん」の講師を務めた。 |
| ポール・バーナムイ PaulVonnahme | 国際交流特別講座 Japan Association for Language Teaching (JALT) 日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA) | English Lecturer: This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker. JALT Member: JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education. Coaching & Leadership: This a college sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years. |
| 柴 田 卓 | 小野町 保育活動（自然保育）に係る講師 国見町 未就学児体力向上支援事業 講師 福島県 子どもと青年の異世代交流事業 講師 | 「おのまちわかばたんけんたい」の実施および評価（年7回） 体力向上プログラムの実施および評価（年7回） 福島県内の保育・幼児教育分野の学生に対し、自然遊びのフィールド ワークおよびワークショップを実施（3回）し、4回目に親子イベント 「フォレストパークあだたら冬の王国」を企画・運営した。平成31年2 月17日（日） 会場：県民の森フォレストパークあだたら |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|-----------------------------------|--|
| | 郡山市私立幼稚園協会 研修会 講師 | 「運動遊び」 平成30年5月9日(水) 10月17日(水) |
| | 郡山市幼稚園・認定こども園PTA連合会 教育講演会 講師 | 演題「子どもに伝えたい自然の魅力～北欧3カ国と日本の事例から～」 平成30年7月10日(火) 会場：郡山市中央公民館多目的ホール |
| | 平成30年度サマーリフレッシュプログラム(教員免許更新講習) 講師 | 「子どもの生活の変化を踏まえた課題と世界の教育の動向」 平成30年7月28日(土) 会場：郡山女子大学 |
| | わくわく子ども大学実行委員会(副運営委員長)及び体験ブース 講師 | 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、副運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース頭脳型運動ゲーム「キャンパス丸ごとかくれんぼ大会」の講師を務めた。平成30年8月4日(土) 会場：郡山女子大学 |
| | 福島大学 教員免許更新講習 講師 | 「自然の魅力を活かした保育技術」 平成30年10月14日(日) 会場：福島大学 |
| 猪 股 照 子 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 平成30年8月4日(日) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 |
| 仲 西 真美子 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 平成30年8月4日(土) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 |
| 星 野 朋 子 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 平成30年8月4日(土) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 |
| 沼 田 春 香 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 平成30年8月4日(土) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-------|------------------------------------|---|
| 浅野 章 | 福島県美術家連盟 | 会員 福島県の実術普及活動 |
| | 国画会 | 絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務 |
| | 福島民報特別通信員 | 特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。 |
| | 国画会絵画部チャリティー事業 | 出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて第92回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額をNHK厚生文化事業団に寄付した。 |
| | 福島県総合美術展 | 招待作家 |
| | 郡山市総合美術展 | 招待作家 |
| | Moa美術館郡山児童作品展 | 出品作品審査・講評 |
| 齊藤 弘久 | 第62回郡山市総合美術展 | 洋画部門審査委員 |
| | 海老根伝統手漉き和紙保存会 | 紙漉き技術協力 |
| | 名古屋市東区 森のようちえん | お弁当包み用ハンカチ、プリント技術協力 |
| | 埼玉県版画家協会 | チャリティー版画展 |
| 小松 太志 | 平成30年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許更新講習） | 講師「プリントによる伝達表現及び映像表現」の映像表現分野を担当した。 |
| | 棚倉町ブランド認証審査委員会 | 委員 棚倉町におけるブランド品の審査・認証を担当した。 |
| 黒沼 令 | 福島県・福島県教育委員会・福島県総合美術展覧会 運営委員会 他 | 第72回福島県総合美術展覧会・彫刻の部の審査主任として、一般出品作品の審査を行った。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|--------------------------|--|
| | 福島県、福島県総合美術展覧会運営委員会 | 第72回福島県総合美術展覧会のワークショップ「彫刻って何？～彫刻の歴史と見方」の講師を担当した。 |
| | 福島県美術家連盟、福島県在京美術家協会、福島県 | 第39回出品者研修会の彫刻の部講師として作品講評と意見の交換を行った。 |
| | 岩手県高等学校文化連盟 | 楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作を行った。 |
| | 福島県教育センター | 創造性を育む表現指導法講座「木彫～立体表現の可能性」の講師として現職の中学校、高校の美術教諭を対象とした実技研修会の指導を担当した。 |
| | 福島県立美術館 | 生誕130年佐藤玄々展の企画・福島県立美術館創作プログラム「木彫の制作と鑑賞～佐藤玄々の動物彫刻をたよりに～」の講師を担当した。 |
| | 国画会・第41回国展彫刻部秋季展実行委員 | 委員として、展覧会の企画・運営を担当した。 |
| 米本順子 | 県南美術協会 | 福島県県南地区の美術振興活動 |
| | Moa美術館郡山児童作品展 | 出品作品の審査 |
| | わくわく子ども大学in郡山女子短大 運営スタッフ | 夏休みの子どもの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は運営スタッフを務めた。 |
| 横溝聡子 | 郡山市立公民館運営審議委員会 | 委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行った。 |
| | 第1回福島県コーラスワークショップ | 講師 平成30年5月26日（土） 会場：郡山女子大学建学記念講堂 福島県合唱連盟主催福島県コーラスワークショップにおいて講師を務めた。 |

| 氏 名 | 審 議 会 ・ 委 員 会 等 名 | 職 務 ・ 活 動 内 容 |
|---------|--------------------------------------|--|
| | 第29回東北青少年ピアノコンクール宮城県南地区大会 | 審査委員 平成30年6月3日(日) 会場: 仙南芸術文化センター(えずこホール) 宮城県南地区リトルピアニストコース予選会において審査委員を務めた。 |
| | 教員免許状更新講習サマーリフレッシュプログラム わくわく子ども大学 | 講師 「ピアノ伴奏のポイント」の講義を担当した。 体験ブース講師 平成30年8月4日(土) 会場: 郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「オリジナル楽器を作ろう」の講師を務めた。 |
| | 第29回日本クラシック音楽コンクール福島本選 | 審査員 平成30年10月9日(火) 会場: 福島市音楽堂大ホール 福島本選ピアノ部門において審査員を務めた。 |
| 磯 部 哲 夫 | 会津演奏家連盟 | 副代表 「スプリングコンサート」、「サマーコンサート」、音楽鑑賞教室の企画、連盟の運営を行った。 |
| | 全日本音楽教育研究会 | 会員 「音楽教育が未来に伝えるもの」について協議した。 |
| | 全国大学音楽教育学会 | 会員 幼児音楽研究 |
| | 福島県声楽協会 | 会員 會津風雅堂において第35回福島県声楽協会演奏会を開催した。 |
| | 高声会 | 会員 歌唱研究 |
| | KGCサマーリフレッシュプログラム(教員免許状更新講習) | 講師 「音楽科指導の工夫～音楽を形づくっている要素と音楽レトリック～」、「教員のための歌唱表現講座～発声の基本と応用、歌唱指導のポイント～」の講義を担当した。 |
| | 第2回わくわく子ども大学 in 郡山女子大学 | 運営スタッフ 「オリジナル楽器をつくろう」の報告書を作成した。 |
| | 郡山女声合唱団 | ヴォイストレーナー 声種別によるヴォイストレーニングを行った。 |
| | 会津若松市戊辰150周年記念事業 オペラ「白虎」 | 実行委員・音楽スタッフ オペラ「白虎」上演に向けて合唱指導を担当した。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------------------|--|--|
| | 芸術家の派遣事業 | 講師 会津若松市立湊中学校において、芸術家の派遣事業講師として合唱指導を行った。 |
| 南川 肇 | 平成30年度サマーリフレッシュプログラム わくわく子ども大学実行委員会（実行委員）及び体験ブース講師 | 講師 楽器学の講義を担当 平成30年8月4日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「オリジナル笛をつくろう」の講師を務めた。 |
| 深谷 悠里絵 | わくわく子ども大学 | 運営スタッフ 平成30年8月4日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「オリジナル楽器を作ろう」の運営スタッフとして活動した。 |
| 二宮 和比古 | 白河市立図書館協議委員 | |
| 何 燕 生 （福島寅太郎） | 日本宗教学会評議員 日本宗教学会学会誌『宗教研究』編集委員 印度学宗教学会常任理事 印度学宗教学会学会誌『論集』編集委員 北京大学『北大仏学』編集委員 香港中文大学研究紀要『人間仏教』編集委員 上海古籍出版社『漢語仏学評論』編集委員 Journal of Buddhist Philosophy (SUNY Press) Editorial Board | 学会の運営及び企画など 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など 学会の運営及び企画 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など 論文の査読、書評の推薦、特集号の提案など |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|-------|---|--|
| 桑野 聡 | 郡山市図書館協議会 | 議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。 |
| | 福島放送番組審議会 | 委員長（2018年10月より）・審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。 |
| | 郡山グランドデザインプロジェクト会議 第3回市民公開講座 第2部パネラー | 2018年4月28日（土）、ビッグパレットふくしまを会場に郡山商工会議所が開催した公開講座第2部のトークセッションに4人のパネラーの一人として参加し、「後世に受け継いでいきたい郡山の文化や歴史」についてコメントした。 |
| 佐藤 愛未 | わくわく子ども大学 運営スタッフ | 平成30年8月4日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 |

